科目名	人文科学概論	
課程	人文科子似論 あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
<u>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>	1年	
担当教官名		
修得単位数	2単位	
年間授業時数	30時間	
授業の方法	講義及び実習	
科目の概要 (授業科目の内容)	「すべてのものはつながっている」をモットーに、季節感を踏まえながら、自全体的に捉える東洋医学を学ぶ者としてのコミュニケーションの根幹となる教す。	
到達目標	Let's gain insight into Oriental medicine.を目標に、技術のみならず人物んに信頼される主治医になるために、豊かな心の目を養い、深い教養と人間力る。	
	前期計 (15 週)	前期計 15時間
	オリエンテーション1 人文科学概論概要~学習してもらいたいこと	1
	オリエンテーション2 あはき師という仕事	2
	コミュニケーションの実践〜正しい日本語を使い、聴覚を鍛えよう	1
	あはき師の先覚達 I	2
	接遇及び医療面接	5
	英語での接遇	1
	モグサ・ヨモギを知る I	1
	季節を感じてみよう	1
	テスト返却及び振り返り	1
		1
授業計画		後期計 15時間
	」 あはき師の先覚達Ⅱ	1
	貝原益軒著『養生訓』を読む	2
	モグサ・ヨモギを知るⅡ	4
	時事問題に触れる	1
	東洋医学と古典文学 I	2
	伝統芸能の中の障害者たち	2
	世界で活躍する東洋医学	2
	テスト返却	1
	<u>無</u>	
実務経験の有無 その活かし方		
成績評価の方法	筆記試験(前期・後期)、授業中の実習活動に対する取り組み姿勢、小テスト 合的に判断して評価します。	、作品等を総
履修上の留意点	毎回の授業における実習活動への積極的参加と年間2回以上の創作作品の提出	
自己学習の進め方	常にどんなことにも興味を持ち「繋がる」という視点から物事を捉える練習を い。	してくださ
使用教科書	無し	
参考書/参考資料	必要に応じて配布します。	

科目名	社会科学概論	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名	村上初枝	
修得単位数	2 単位	
年間授業時数	3 0 時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	社会福祉・社会保障の理念・歴史・制度を学び、社会の動向を把握していきま	
到達目標	社会保障制度が生活をどのように支え、人権を保障しているのかを考えている	
授業計画	前期内容 ①授業内容と自己紹介 ②生活と福祉(少子高齢社会と人の一生と社会福祉) ③社会福祉の理念(日本国憲法と社会福祉) ④社会福祉へ法 ⑤5つの社会保険制度 ⑥前期まとめ ⑦前期期末試験返却 後期計 (13週) 後期内容 ⑧公衆衛生と感染症 ⑨東アジアの社会保障制度 ⑩北欧・アメリカの社会保障制度 ⑪比欧・アメリカの社会保障制度 ⑪医療の歴史(西洋医学と東洋医学) ⑫障碍者権利条約・障害福祉施策 ⑬社会保障制度の動向 ④後期レポート返却	前期計 17時間 1 2 1 6 5 1 1 1 2 2 2 2 3 2 2 1 1 1
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	前期は、期末試験のみで、中間試験はありません。 後期は、期末レポートのみで評価します。	
履修上の留意点	社会保障制度は複雑なので、遠慮なく疑問などは聞いてください。	
自己学習の進め方		
使用教科書	使用しません 社会福祉基礎(実教出版) 高等学校教科書(公共)	
	■ A L . A SA C A SECTION AND A DESCRIPTION AND A SACRET AND AND A SACRET AND AND A SACRET AND A	

報程	
対象クラス 1年 担当教官名 新井敏夫 2単位 2単元 2単元	
担当教官名	
修得単位数 2単位 年間授業時数 30時間 授業の方法 講義 All の概要(授業科目の内容) 1. 自然科学の考え方について考察し、科学的な考え方についての理解を深めます。2. 地球の成り立ちと歴史について理解を深めます。3. 生物の分類と進化について理解を深めます。5. 音の性質や種類について理解を深めます。6. 身近なものに共通して見られる要素を探し、科学的に捉えます。 到達目標 理療教科における学習に必要な自然科学の基礎的な概念、原理、法則等を理解して説明は正誤の判定ができること。 前期計 (15 週) 前期計 1 前期内容 1. 授業の概要説明 1. 授業の概要説明 1 2. 地球の誕生と歴史 (1) 太陽系誕生 (2) 地球の成り立ち (3) 地質時代区分と地球環境の変遷 6 3. 生物の進化 6	
# では	
授業の方法	
1. 自然科学の考え方について考察し、科学的な考え方についての理解を深めます。 2. 地球の成り立ちと歴史について理解を深めます。 3. 生物の分類と進化について理解を深めます。 4. 元素の分布や性質について理解を深めます。 5. 音の性質や種類について理解を深めます。 6. 身近なものに共通して見られる要素を探し、科学的に捉えます。 理療教科における学習に必要な自然科学の基礎的な概念、原理、法則等を理解して説明は正誤の判定ができること。 前期計 (15 週) 前期計 1 前期内容 1. 授業の概要説明 1	
は正誤の判定ができること。	
前期内容 1. 授業の概要説明 2. 地球の誕生と歴史 (1) 太陽系誕生 (2) 地球の成り立ち (3) 地質時代区分と地球環境の変遷 3. 生物の進化	5時間
前期内容 1. 授業の概要説明 2. 地球の誕生と歴史 (1) 太陽系誕生 (2) 地球の成り立ち (3) 地質時代区分と地球環境の変遷 3. 生物の進化	-
(2) 生物の進化	
(3) 生物の繁栄と絶滅 1 前期のまとめ 1 前期末試験講評 (**15 ** 3月 **)	- n+: 88
授業計画 後期計 (15 週) 後期計 15)時間
後期内容 4. 元素について (1) 元素の種類 (2原子の構造 (3) 元素の分布 6	
5. 音について (1) 音の性質 (2) 音の種類 (3) 様々な音(機械音、電子音、鳴き声など)1後期のまとめ1	
後期末試験講評 6. 身近なものに共通する要素	
実務経験の有無 その活かし方	
成績評価の方法 前期、後期の2回の定期試験を実施し、その平均点を年間評価とします。(小数点以下 捨て)	は切り

神戸センター

自己学習の進め方	講義は事前に配布する資料を用いて行います。資料をよく読み、講義内容を把握して講義に望んでください。講義後は復習し、内容の理解に努めてください。また、日常の生活において、関係する科目の内容とのつながりや広がりも考えられるよう心がけてください。
使用教科書	なし。プリントを配布します。
参考書/参考資料	必要に応じて模型などの資料を持ち込みます。

科目名	保健体育	
	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
	のの様々グリーン相互、はり、さゆり代ー寺门珠柱	
担当教官名	細川健一郎	
修得单位数	1単位	
年間授業時数	3 0 時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	運動・スポーツにかかわる基本的な知識と技術について学びます。 体力測定を通して身体の状況を客観的にとらえることについて学びます。 スポーツ傷害とテーピングの基本的な知識と技術について学びます。	
到達目標	1. 運動・スポーツを生涯にわたって継続していく重要性を理解して、実きる。2. 運動・スポーツ実践の基となる自身の体力の現状を客観的に把握できる。3. スポーツ傷害とテーピングの基礎を理解する。	
	前期計 (15週)	前期計15時間
	1. オリエンテーション	1
	2. 体づくり運動	3
	3. 陸上競技	3
	4. 球技	2
	5. レクリエーションゲーム	2
	6. 体力測定	2
	7. 体育理論	1
	8. 保健理論	1
授業計画		
	後期計 (15週)	後期計15時間
	1. 体づくり運動	5
	1. 体づくり運動 2. 球技	5
	1. 体づくり運動	5
	1. 体づくり運動 2. 球技	5
	 体づくり運動 球技 スポーツ傷害とテーピング 	5 5 3
	 体づくり運動 球技 スポーツ傷害とテーピング 体育理論 	5 5 3 1
	 体づくり運動 球技 スポーツ傷害とテーピング 体育理論 	5 5 3 1
実務経験の有無	 体づくり運動 球技 スポーツ傷害とテーピング 体育理論 保健理論 	5 5 3 1
	 体づくり運動 球技 スポーツ傷害とテーピング 体育理論 保健理論 	5 5 3 1 1
実務経験の有無その活かし方	 体づくり運動 球技 スポーツ傷害とテーピング 体育理論 保健理論 無 理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価の平均点を学年末評価と 	5 5 3 1 1 1
実務経験の有無 その活かし方 成績評価の方法 履修上の留意点 自己学習の進め方	1. 体づくり運動 2. 球技 3. スポーツ傷害とテーピング 4. 体育理論 5. 保健理論 無 理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価の平均点を学年末評価と第一位は切り捨て) 中間試験は実施しません。天候により使用する体育施設を変更することが既習の内容は、余暇活動での活用や自己学習を含めて振り返り学習してく	5 5 3 1 1 1 します。 (小数点 あります。
実務経験の有無 その活かし方 成績評価の方法 履修上の留意点	1. 体づくり運動 2. 球技 3. スポーツ傷害とテーピング 4. 体育理論 5. 保健理論 無 理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価の平均点を学年末評価と第一位は切り捨て) 中間試験は実施しません。天候により使用する体育施設を変更することが	5 5 3 1 1 1 します。 (小数点 あります。

科目名	解剖学 I	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名	池田 正道	
修得単位数	4単位	
年間授業時数	120時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	人体の構成、骨格系、筋系、神経系の位置・構造・機能について学びます。	
到達目標	各器官の位置・構造・機能について、その概要を説明できるようになる。	
	前期計 (15 週)	前期計 60時間
	1. 人体の構成	
	(1)細胞	4
	(2)組織	4
	(3)人体の区分と方向	4
	2. 骨格系及び関節	
	(1) 脊中·胸郭	12
	(2) 上肢	
		12
	(3)下肢	12
	(4) 頭蓋	12
授業計画	後期計 (15 週)	後期計 60時間
	3. 筋系及び局所解剖	
	(1) 体幹	0
	(2)上肢	8
		8
	(3)下肢	8
	(4) 頭頸部	6
	4. 神経系	
	(1)神経系の構成	2
	(2)中枢神経系	14
	(3)末梢神経系	
	(A) (1-114-1-1/1974)	14
and the state of t	有 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師	
実務経験の有無その活かし方	 病院での実務経験を活かし、解剖学の理解が今後の学習にとっての基礎であり)、重要である
	ことが意識できるよう、関連する疾患にも触れながら説明します。	
成績評価の方法	前期・後期とも、中間期と期末に試験を行い、その平均点(小数点以下は切り 学期の評価とします。学年末評価は、前期と後期の評価の平均点(小数点以下 とします。	「は切り捨て)
履修上の留意点	模型に積極的に触れ、教科書に記載されている内容を立体的にイメージできるださい。	らようにしてく
自己学習の進め方	授業後は必ず復習を行い、配布された練習問題を解くことで、自身の記憶度や してください。	理解度を確認
使用教科書	人体の構造と機能 解剖学(第2版) 盲学校理療教科用図書編纂委員会編	
参考書/参考資料	必要に応じて配布します。	

科目名	解剖学Ⅱ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科・専門課程	
<u>対象</u> クラス	1年	
担当教官名	橋本拓也	
修得単位数	3 単位	
年間授業時数	9 0 時間	
授業の方法	講義	
科目の概要	循環器系・呼吸器系・消化器系・泌尿器系・生殖器系・内分泌系・感覚器系の	位置・構造・機
(授業科目の内容)	能について学びます。	
到達目標	各臓器の位置・構造・機能について、その概要を説明できるようになる。	
	前期計 (15 週)	前期計 45時間
	1. 消化器系 口腔、食道、胃、小腸、大腸、肝臓、胆嚢、膵臓 2. 呼吸器系	20 10
	気道、肺 3.循環器系 総論、心臓、動静脈	15
授業計画	後期計 (15 週)	後期計 45時間
	区为III (10)/2 /	及別日 40円月
	3. 循環器系	10
	リンパ系、関係器官	
	4. 泌尿器系	8
	腎臓、膀胱、尿路	
	5. 生殖器系	8
	男性生殖器、女性生殖器	
	6. 内分泌系	7
	各内分泌器官	
	7. 感覚器系	12
	視覚器、聴覚平衡器、味覚器、嗅覚器、皮膚	
実務経験の有無 その活かし方	無	
C - 7 14 70 77	ALTER (ALTER) 1	IA > \ \(\tau \) = \ \(\tau \) \ \(\tau \) \ \(\tau \) \ \(\tau \)
成績評価の方法	前期・後期とも、中間期と期末に試験を行い、その平均点(小数点以下は切り 期の評価とします。学年末評価は、前期と後期の評価の平均点(小数点以下は ます。	
	模型に積極的に触れ、教科書に記載されている内容を立体的にイメージできる	ようにしてくだ
履修上の留意点	さい。 授業で扱う臓器の順番は、変更する場合があります。その場合は、変更するこ します。	.とを事前に連絡
自己学習の進め方	授業後は必ず復習を行い、配布された練習問題を解くことで、自身の記憶度や てください。	⁾ 理解度を確認し
使用教科書	人体の構造と機能 解剖学 (第2版) 盲学校理療教科用図書編纂委員会編	
参考書/参考資料		
-		

	令和7年度 授業計画書(シフハス)	
科目名	生理学 I	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名	佐藤 智紀	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	この科目では人体の正常な機能について学びます。生体を構成する細胞の働き 吸、消化吸収、代謝、体温、排泄の仕組みについて理解し、医学的な専門科目 礎となるようにします。また、得た知識を施術に生かせるように学びます。	
到達目標	授業計画に上げてある各項目について、その人体内での役割・働き・原理につ ようにすることが目標です。	いて説明できる
	前期計 (15週)	前期計 30時間
	1. オリエンテーション	1
	2. 生理学の基礎	
		5
	3. 循環	10
	4. 呼吸	7
	5. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む)	6
	6. 中間試験	
	1	1
	7. 期末試験	
! 授業計画		後期計 30時間
1人次和1四		
	8. 消化と吸収	6
	9. 代謝	6
	1 0. 体温	5
	11. 排泄	6
	12. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む)	6
	1 3. 中間試験	1
		1
	14. 期末試験	
1		
policy to first to the control of th	411-	
実務経験の有無	無	
実務経験の有無その活かし方		
その活かし方	型療教育実施細則に基づき、各学期末に行われる期末試験(筆記試験)の平均	
その活かし方	理療教育実施細則に基づき、各学期末に行われる期末試験(筆記試験)の平均は切り捨て)を学年末評価とします。形成的評価として中間試験を実施しますめません。	が、評価には含
その活かし方	理療教育実施細則に基づき、各学期末に行われる期末試験(筆記試験)の平均は切り捨て)を学年末評価とします。形成的評価として中間試験を実施します	が、評価には含 ください。
その活かし方 成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、各学期末に行われる期末試験(筆記試験)の平均は切り捨て)を学年末評価とします。形成的評価として中間試験を実施しますめません。 解剖学の授業と関連がでてきます。他科目の学習内容も意識して自学自習してまた医学知識の基礎となる科目ですので、しっかりと理解して暗記できるよう	が、評価には含 ください。
その活かし方 成績評価の方法 履修上の留意点	理療教育実施細則に基づき、各学期末に行われる期末試験(筆記試験)の平均は切り捨て)を学年末評価とします。形成的評価として中間試験を実施しますめません。 解剖学の授業と関連がでてきます。他科目の学習内容も意識して自学自習してまた医学知識の基礎となる科目ですので、しっかりと理解して暗記できるようあればその場で解決するように意識してください。	が、評価には含 ください。

科目名	医療概論(社会保障制度および職業倫理を含む)	
円 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
<u> </u>	のん事・グケーン指圧、はり、さゆり村 寺门珠柱 1年	
担当教官名	橋本拓也	
修得单位数	2 単位	
年間授業時数	3 0 時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	社会保障制度ならびに医療制度および職業倫理ついての基礎的知識を学びます	す。
到達目標	 社会保障制度について説明できる。 医療制度について説明できる。 生命倫理および職業倫理について説明できる。 	
	前期計 (15 週)	前期計 15時間
授業計画	1. オリエンテーション 2. 医学と医療 (1) 現代の医学と医療 (2) 社会保障制度 (3) 現代の医学と医療の課題	1 2 8 4
	後期計 (15 週) 3. 生命倫理 (1) 医の倫理(職業倫理) (2) ターミナルケア (3) 自然死、尊厳死、安楽死 (4) 臓器移植と脳死 (5) 体外受精・人工妊娠中絶・胎児診断	後期計 15時間 7 2 2 2 2 2
	無	I
その活かし方		
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、各学期末に行われる期末試験(筆記試験)の平均は切り捨て)を学年末評価とします。他に中間試験を各学期内に1回行います評価として学年末評価には含めません。	
履修上の留意点	社会保障制度および職業倫理に関する指導は1単位相当とします。	
自己学習の進め方	常日頃社会保障制度や医療制度に関心をもち関連する情報に触れるよう心がに	ナましょう。
	医療と社会 改訂8版 岡山ライトハウス	
	なし	
参考書/参考資料	/よし	

科目名	東洋医学概論 I	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科・専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名	藤井 徹	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者として必要な東洋医学の基本的概念、東洋医学的な形態感と機能感、原法、診察法ならびに治療法の基礎的な事項を学びます。	「因病機、診断
到達目標	①東洋医学の基本的な特色を述べることができる。②気血津液・臓腑の基本的概念と生理機能について説明することができる。	
	前期計 (15 週)	前期計 30時間
	1. オリエンテーション	1
	2. 東洋医学の基礎理論	
		20
	(1) 東洋医学の意義と特徴 (2) 陰陽五行論	
	3. 東洋医学の生理観	4
	(1) 東洋医学における人体の構成	
	4. 復習	5
	15 次日	ΰ
स्थ अर ु ३ ===	// Lin 51 /	46 H==1
授業計画	後期計 (15 週)	後期計 30時間
	5. 東洋医学の生理観	25
	(1) 東洋医学における人体の構成	
	(2) 気・血・津液・精・神の生理	
	(3) 臓象論	
	(4) 経絡と経穴	
		-
	6. 復習	5
実務経験の有無	無	
■ 美務経験の有無 その活かし方	··· 1	
- In. 077		/ I *\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
┃ ■ 成績評価の方法	前期期末、後期期末の年2回の総括的評価の平均点もって年間評価とします 切り捨て)。なお、中間期にはそれぞれの到達度を確認するための形成的評価	
	切り拾く)。 なね、中間期にはてれてれの封達及を確認するにめの形成的計画 す。	1で 天心 しま
	▼・ 東洋医学概論の難解な言葉や漢字については、事前に読みを調べることにより	学習が円滑に
履修上の留意点	進みます。	
	講義は教科書を基にまた必要ならば資料を作成しそれを用いて進めます。その	
┃ 自己学習の進め方	必ず教科書等を精読して復習し、内容の理解につとめてください。理解できな	いところがあ
	れば、教科書を調べ、それでも解決できなければ、次の講義までに担当教官に	質問し確認し
 	てください。 基礎理療学 I (東洋医学概論)改訂第8版	
使用教科書	基礎理療学 I (東洋医学概論)改訂第8版 東洋療法学校協会編 新版東洋医学概論	
▶ 参考書/参考資料	朱什/宋伝子仪 励云柵 利	

■ ¥31.日 <i>5</i> 7	経絡経穴概論 I	
科目名 課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科・専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名	中西初男	
修得単位数	3単位	
年間授業時数	90時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	経絡経穴の基礎と知識、十四経脈の流注、それに所属する経穴の名称・部位・ 要穴について学びます。	取穴・解剖及び
到達目標	 経絡経穴を説明できる。 十二経の名称が順番通り言える。 各経絡の流注と所属する経穴名が順番通り言える。 十四経に所属する各経穴の部位・取穴・解剖が言える。 各経絡の要穴(五要穴・五行穴・四総穴など)が言える。 	
	前期計 (15 週)	前期計 45時間
	オリエンテーション 1. 経絡経穴の誕生	1
	2. 臓腑の概要及び経絡との関係	1
	3. 経穴の取り方(骨度法・同身寸法など)	2
	4. 経絡経穴の理解に必要な用語	1
	5. 督脈	5
	6. 任脈	5
	7. 肺経	3
	8. 大腸経	5
	9. 胃経	
		10
	10. 脾経	6
	前期のまとめ	5
授業計画	後期計 (15 週)	後期計 45時間
	7. 心経	3
	8. 小腸経	4
	· ···· —	
	9. 膀胱経	12
	10. 腎経	5
	l ·	9
	1 1. 心包経	3
		3
	1 2. 三焦経	3 4
	1 2. 三焦経 1 3. 胆経	3 4 5
	1 2. 三焦経	3 4
	1 2. 三焦経 1 3. 胆経	3 4 5
	1 2. 三焦経 1 3. 胆経 1 4. 肝経	3 4 5 4
	1 2. 三焦経 1 3. 胆経 1 4. 肝経	3 4 5 4
	1 2. 三焦経 1 3. 胆経 1 4. 肝経	3 4 5 4
	12. 三焦経 13. 胆経 14. 肝経 後期のまとめ	3 4 5 4
実務経験の有無	12. 三焦経 13. 胆経 14. 肝経 後期のまとめ 有 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師	3 4 5 4 5
実務経験の有無 その活かし方	12. 三焦経 13. 胆経 14. 肝経 後期のまとめ 有 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師 病院・治療院での施術経験を生かして、リスク管理のもと安全で効果的な、患者	3 4 5 4 5
	12. 三焦経 13. 胆経 14. 肝経 後期のまとめ 有 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師病院・治療院での施術経験を生かして、リスク管理のもと安全で効果的な、患った施術ができるよう指導します。	3 4 5 4 5
	12. 三焦経 13. 胆経 14. 肝経 後期のまとめ 有 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師 病院・治療院での施術経験を生かして、リスク管理のもと安全で効果的な、患った施術ができるよう指導します。 総括的評価を前期・後期の中間・期末と年4回実施します。前期・後期の評価・評価とします。(小数点以下切り捨て)	3 4 5 4 5 7 者さんに合わせ の平均点を年間
その活かし方	12. 三焦経 13. 胆経 14. 肝経 後期のまとめ 有 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師 病院・治療院での施術経験を生かして、リスク管理のもと安全で効果的な、患さた施術ができるよう指導します。 総括的評価を前期・後期の中間・期末と年4回実施します。前期・後期の評価を評価とします。(小数点以下切り捨て) 定期的な取穴練習を実施します。実技と同様に衛生管理やリスク管理を意識しください。	3 4 5 4 5 5 者さんに合わせ の平均点を年間 て授業に臨んで
その活かし方 成績評価の方法	12. 三焦経 13. 胆経 14. 肝経 後期のまとめ 有 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師 病院・治療院での施術経験を生かして、リスク管理のもと安全で効果的な、患症施術ができるよう指導します。 総括的評価を前期・後期の中間・期末と年4回実施します。前期・後期の評価で評価とします。(小数点以下切り捨て) 定期的な取穴練習を実施します。実技と同様に衛生管理やリスク管理を意識して	3 4 5 4 5 4 5 7 で学ぶ筋肉や神
その活かし方 成績評価の方法 履修上の留意点	12. 三焦経 13. 胆経 14. 肝経 後期のまとめ 有 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師 病院・治療院での施術経験を生かして、リスク管理のもと安全で効果的な、患さた施術ができるよう指導します。 総括的評価を前期・後期の中間・期末と年4回実施します。前期・後期の評価はとします。(小数点以下切り捨て) 定期的な取穴練習を実施します。実技と同様に衛生管理やリスク管理を意識して、ださい。 試験だけでなく、経穴の暗唱をしてもらいます。ただ覚えるだけでなく解剖学経なども併せて学習してください。経絡の流れ、経穴の場所を覚えるため、まま	3 4 5 4 5 4 5 7 で学ぶ筋肉や神

科目名	あマ指基礎実習 I	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科・専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名		
修得単位数	4単位	
年間授業時数	120時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	あん摩の沿革、施術者としての注意点、基本手技、全身あん摩 (側臥位・仰間 どについて学習します。	ふ位・腹臥位)な
到達目標	(1) 身だしなみに気をつけて参加することができる。(2) あん摩の基本手技を用いて適切に施術することができる。(3) 姿勢等を意識し適切な加圧で施術することができる。(4) 施術に関わる衛生管理・リスク管理・時間管理ができる。(5) 施術に必要な触察と位置確認ができる。	
	前期計 (15 週)	前期計 60時間
	1. オリエンテーション 施術者としての注意事項 あん摩の沿革 2. 施術部位の名称 基本手技	2
	2. 旭州市区の石州 塞平于汉	10
	3. 側臥位のあん摩	48
授業計画	後期計 (15 调)	後期計 60時間
授業計画	後期計 (15 週)	後期計 60時間
授業計画	後期計 (15 週) 4. 側臥位のあん摩	後期計 60時間
授業計画		
授業計画	4. 側臥位のあん摩	20
	4. 側臥位のあん摩5. 仰臥位のあん摩6. 伏臥位のあん摩	20 15
実務経験の有無	4. 側臥位のあん摩 5. 仰臥位のあん摩	20 15
	4. 側臥位のあん摩5. 仰臥位のあん摩6. 伏臥位のあん摩	20 15
実務経験の有無	4. 側臥位のあん摩5. 仰臥位のあん摩6. 伏臥位のあん摩	20 15 25 (小数点以下は切
実務経験の有無その活かし方	4. 側臥位のあん摩 5. 仰臥位のあん摩 6. 伏臥位のあん摩 m 前期期末、後期期末の年2回の総括的評価の平均点もって年間評価とします	20 15 25 (小数点以下は切 を実施します。
実務経験の有無その活かし方成績評価の方法	4. 側臥位のあん摩 5. 仰臥位のあん摩 6. 伏臥位のあん摩 前期期末、後期期末の年2回の総括的評価の平均点もって年間評価としますり捨て)。なお、中間期にはそれぞれの到達度を確認するための形成的評価されている。 1. リスク管理・衛生管理に充分配慮する。特に母指圧の力度は無理となられる。	20 15 25 (小数点以下は切 を実施します。
実務経験の有無その活かし方成績評価の方法履修上の留意点	4. 側臥位のあん摩 5. 仰臥位のあん摩 6. 伏臥位のあん摩 前期期末、後期期末の年2回の総括的評価の平均点もって年間評価としますり捨て)。なお、中間期にはそれぞれの到達度を確認するための形成的評価を 1. リスク管理・衛生管理に充分配慮する。特に母指圧の力度は無理とならなる。 2. 骨・関節・筋などは解剖学と関連するので、充分学習する。 1. 日ごろから母指の鍛錬を行う。	20 15 25 (小数点以下は切 を実施します。
実務経験の有無 その活かし方 成績評価の方法 履修上の留意点 自己学習の進め方	4. 側臥位のあん摩 5. 仰臥位のあん摩 6. 伏臥位のあん摩 前期期末、後期期末の年2回の総括的評価の平均点もって年間評価としますり捨て)。なお、中間期にはそれぞれの到達度を確認するための形成的評価を 1. リスク管理・衛生管理に充分配慮する。特に母指圧の力度は無理とならなる。 2. 骨・関節・筋などは解剖学と関連するので、充分学習する。 1. 日ごろから母指の鍛錬を行う。 2. 予習は事前に施術部位の術式を暗記しておく。	20 15 25 (小数点以下は切 を実施します。

₩		
科目名	あマ指基礎実習Ⅱ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科専門課程	
対象クラス	<u>1</u> 年	
担当教官名	藤井 徹	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	マッサージの基礎的な技術や身体各部に対する術式を学び、施術の流れを理解 施術者としての能力と態度を養います。	するとともに
到達目標	(1) 身だしなみに気をつけて参加することができる。(2) マッサージの基本手技を用いて適切に施術することができる。(3) 姿勢等を意識し適切な加圧で施術することができる。(4) 施術に関わる衛生管理・リスク管理・時間管理ができる。(5) 施術に必要な触察と位置確認ができる。	
	前期計 (15 週)	前期計 30時間
授業計画	1. 施術への導入 (1) 施術者としての心構え (2) マッサージの沿革および意義と役割 (3) 施術室の管理および実習用具の取扱い (4) 衛生管理(手指の消毒を含む) (5) リスク管理 (6) 作用機序の概要 2. マッサージの基礎 (1) 人体の区分 (2) マッサージの基本手技(6種類) 3. 身体各部へのマッサージ (1) 上肢(手部、前腕、上腕) (2) 下肢(足部、下腿、大腿) 後期計 (15 週) 3. 身体各部へのマッサージ (3) 体幹(頭頸部、胸腹部、背部) (4) 上肢の各関節(手関節、肘関節、肩関節) (5) 下肢の各関節(足関節、膝関節、股関節)	8 10 10 10 後期計 30時間 15 8 7
実務経験の有無	無	
その活かし方		
成績評価の方法	前期期末、後期期末の年2回の総括的評価の平均点もって年間評価とします。 は切り捨て)なお、中間期には形成的評価を実施します。各評価は、試験に実 味したものとします。	習態度等を加
履修上の留意点	自身の健康管理に留意し、身体や白衣を清潔に保ち衛生管理に留意しましょう。クラスメートを患者想定で進めますので、お互いに敬意を払う態度で取り組みましょう。	
自己学習の進め方	実技授業は復習が大切です。この授業では身体各部へのマッサージを練習しますので、授業 終了後は術式等復習しておいてください。 また、基本手技については手が思うように動くまで反復練習することをお勧めします。	
使用教科書	なし	
	必要に応じて配布します	
> V = 1 > V = 7 T = 1		

A H IA	1978 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
科目名	あて指基礎実習Ⅲ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	1年 様太灯山	
担当教官名	橋本拓也 2 単位	
修得単位数		
年間授業時数	6 0 時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	指圧の基礎技術を実習形式により、体験的に学びます。臨床実習の前段階とし 術法を中心に学びます。	て、部位別の施
到達目標	(1) 身だしなみに気をつけて参加することができる。(2) 指圧の基本手技を用いて適切に施術することができる。(3) 適切な姿勢等を意識し適切な加圧で施術することができる。(4) 施術に関わる衛生管理・リスク管理・時間管理ができる。(5) 施術に必要な触察と位置確認ができる。	
	前期計 (15 週)	前期計 30時間
授業計画	1. 施術への導入 ①指圧の意義と役割 ②施術者としての心構え ③施術室の管理 ④施術用具の取扱い ⑤衛生管理(手指の消毒を含む) ⑥リスク管理 2. 指圧施術上の基本的事項 ①押圧操作 ②押圧の三原則 ③母指圧の型 ④按摩手技の応用	5 25
1文表司 四	後期計 (15 週)	後期計 30時間
	3. 指圧の基本手技 ①押圧操作法 ②運動操作法 4. 腹臥位の指圧 ①背部 ②殿部 ③下肢 ④後頭部・後頸部・肩上部 5. 背臥位の指圧 ①腹部 ②下肢 ③頭部	10 10 10
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	前期期末、後期期末の年2回の総括的評価の平均点もって年間評価とします(小数点以下は切り捨て)。なお、中間期にはそれぞれの到達度を確認するための形成的評価を実施します。	
履修上の留意点	1. リスク管理・衛生管理に充分配慮する。特に母指圧の力度は無理とならないよう心がける。 2. 骨・関節・筋などは解剖学と関連するので、充分学習する。	
自己学習の進め方	1. 日ごろから母指の鍛錬を行う。 2. 予習は事前に施術部位の術式を暗記しておく。	
使用教科書	手技療法の基礎と臨床(改訂第5版) オリエンス研究会 岡山ライトハウス	
参考書/参考資料	なし	
ショラックスパ	S. 5	

	令和7年度 授業計画書(シブハス)	
科目名	はき基礎実習Ⅰ	
課程 課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科専門課程	
対象クラス	1年	
担当教官名	池田正道	
修得単位数	3 単位	
年間授業時数	9 0 時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	はり施術に関する基礎的な知識と技術について学びます。	
到達目標	 (1) 身だしなみに気をつけて参加することができる。 (2) 刺鍼の基本操作を正確かつ安全に行うことができる。 (3) 押手を安定させ直刺ができる。 (4) 一定時間内に身体各部位(経穴)への刺鍼ができる。 (5) 手順(動作)に無駄がなく、適切に器具を取り扱うことができる。 (6) 鍼施術に関わる衛生管理・リスク管理・時間管理ができる。 	
	前期計 (15 週)	前期計 45時間
	1. オリエンテーション	1
	2. 施術への導入	2
		۷
	(1) 鍼施術の意義と役割 (2) 施術者としての心構え	
	(3) 施術室の管理 (4) 施術用具の基礎知識とその取り扱い	
	(5) 衛生管理(手指の消毒を含む)(6) リスク管理(感染予防対策を含む)	
	3. 施鍼の基礎	20 (3. 4含む)
	(1)消毒法の実際 (2)前揉捏と後揉捏 (3)押手と刺し手	
	(4)管鍼法と燃鍼法 (5)刺入法と抜針法	
	4. 基本手技	
		20 (5. 6含む)
		20 (3. 6百亿)
	6. 主な経穴への刺鍼	
	※5.6.は自身、クラスメイトの体へ刺鍼の順	
授業計画	7. 中間試験(形成的評価)	2
	7. 个间的构成(//2/)发展的时间	2
	後期計 (15 週)	後期計 45時間
	3. 施鍼の基礎	43
		10
	(1)消毒法の実際 (2)前揉捏と後揉捏 (3)押手と刺し手	
	(4)管鍼法と燃鍼法 (5)刺入法と抜針法	
	4. 基本手技	
	※3.4.の内容を随時確認しながら実施	
	5. 身体各部への刺鍼	
	6. 主な経穴への刺鍼	
	※5.6.はクラスメイトを相手に実施	
	7. 中間試験(形成的評価)	2
	有 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師	
実務経験の有無		直辺の中でます
その活かし方	病院勤務の経験を活かし、臨床現場での施術の様子などを話すことで、基礎練習の中でも実際の現場の雰囲気を感じとれ、練習の動機付けとなれるようにします。	
よは対圧のナン	理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価の平均点を学年末評価とし	ます。
成績評価の方法 	(小数点第一位は切り捨て)	
履修上の留意点	6月、11月に形成評価のため、2回中間試験を行います。	
自己学習の進め方	事故防止の観点から原則として鍼基礎 I の授業以外の時間には鍼は使用できません。 放課後に練習したい場合は教官にご相談ください。	
使用教科書	鍼灸実技 基礎と臨床 改訂第5版 オリエンス研究会	
	人体の構造と機能解剖学(第2版第19刷)、新版 経絡経穴概論	
1	-	

1 1	〒仲(十及 父未可四音(ンノハハ)	
科目名	はき基礎実習Ⅱ あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
課程 対象クラス	めん屋マグリーン相圧、はり、さゆう杯 専門味住 1年	
担当教官名	米田 裕和	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	灸施術に必要な艾の鑑別、保存などや、施灸の種類、施灸の方法、施灸の実際し、修練を行います。個々の特性による課題についても、克服に向け個別の指す。	
到達目標	 (1) 身だしなみに気をつけて参加することができる。 (2) 施灸の基本操作を正確かつ安全に行うことができる。 (3) 決められた大きさと形で艾炷を作成できる。 (4) 一定時間内に定められた部位(経穴)への施灸ができる。 (5) 手順(動作)に無駄がなく、適切に器具を取り扱うことができる。 (6) 灸施術に関わる衛生管理・リスク管理・時間管理ができる。 	
	前期計 (15週)	前期計 30時間
	1. オリエンテーション	2
	2. 艾	3
	艾の種類・品質と鑑別と保存、線香	_
	3. 施灸の種類	4
		4
	有痕灸各種、無痕灸各種	
	4. 施灸の実際	20
	無痕灸	
	知熱灸・各種温灸・各種隔物灸	
	手順・線香の取り扱いと点火、燃焼後の灰処理	
	施灸の練習・工夫	
	5. 評価のフィードバック	1
授業計画	後期計 (15週)	後期計 30時間
	6. 有痕灸	10
	艾炷の形と大きさ・艾炷のひねり方	
	線香の取扱いと点火・燃焼後の灰処理	
	施灸の工夫・施灸の練習	
	7. 身体各部の施灸	10
	灸の大きさ、壮数について、身体斜面への施灸・四肢への施灸・体幹への施 灸	
	8. 施灸時の接遇	9
	声掛けを含むベッドサイドでの接遇について	-
	※視覚障害者の施灸に関してより高い水準で安全性と実効性を念頭におき 即恵・上大し、利用有個々の特性に合った無助具などを使用するなどの配慮 に留章する。	
	9. 評価のフィードバック	1
	無	<u> </u>
実務経験の有無	<i>π</i>	
その活かし方		
	<u> </u>	

神戸センター

成績評価の方法	理療教育実施細則24に基づき、各学期末に行われる期末試験(筆記試験)の平均点(小数点 以下、切り捨て)を学年末評価とします。他に中間試験を各学期内に1回行いますが、これは 形成的評価として学年末評価には含めません。
履修上の留意点	やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は理療教育実施細則の規定より欠席扱いとなりますが、30分未満でも積極的な授業参加を期待します。理療教育実施細則の規定により再評価試験はありません。 身体や白衣を清潔に保ち衛生管理に留意します。施術に対してお互いに敬意を払う態度で取り組みます。火傷のリスクが高いので火気の取り扱いには十分に留意します。
自己学習の進め方	この実習で身につける知識・技術には、解剖学や経絡経穴概論で履修する学習内容も含まれており、関連する事項については授業中に解説を行い、次の実習までに復習して下さい。 授業時間外において、各自が人体施灸の練習する場合は、教官立ち合いの元で行うように し、実習中に説明した注意事項を十分に守り、実習で習得した範囲内で練習に励んで下さい。
使用教科書	鍼灸実技 基礎と臨床 改定第5版、オリエンス研究会編/岡眞太郎・志水克典、岡山ライトハウス、2021年
参考書/参考資料	はりきゅう基礎実習Ⅱ 実習指導マニュアル

科目名	人文科学概論	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科専門課程	
対象クラス	2年	
担当教官名	名生修子	
修得単位数	2	
年間授業時数	30	
授業の方法	講義及び実習	<i>h</i> h III
科目の概要 (授業科目の内容)	「すべてのものはつながっている」をモットーに、季節感を踏まえながら、自全体的に捉える東洋医学を学ぶ者としてのコミュニケーションの根幹となる教す。	枚養を深めま
到達目標	技術のみならず人物面でも患者さんに信頼される主治医になるために、様々な きるよう豊かな心の目を養い、より深い教養とフレキシビリティーのある人間 ること。	
	前期計 (15週)	前期計 15時間
	人文科学概論概要 あはき師という仕事	1
	世界で活躍する東洋医学	2
	接遇及び医療面接	2
	モグサ・ヨモギを知るⅠ	2
	あはき師の先覚達 I	2
	伝統芸能の中の障害者たち	3
	「聞診」のために〜嗅覚を鍛えよう	1
	季節を感じる	1
	テスト返却及び振り返り	1
授業計画		後期計 15時間
		2
	東洋医学と古典文学Ⅱ	3
	あはき師の先覚達 Ⅱ	
		1
	身近な漢方に触れる	4
	モグサ・ヨモギを知るⅡ	2
	時事問題に触れる	1
	聴覚を鍛えよう	1
	テスト返却	1
		1
# 76 07 EA ~ + 6m	無	·
実務経験の有無 その活かし方		
- C-71HW D/J		
成績評価の方法	筆記試験(前期・後期)、授業中の実習活動に対する取り組み姿勢、小テスト 合的に判断して評価します。	、作品等を総
成績評価の方法履修上の留意点	合的に判断して評価します。 毎回の授業における実習活動への積極的参加と年間2回以上の創作作品の提出	を求めます。
履修上の留意点自己学習の進め方	合的に判断して評価します。 毎回の授業における実習活動への積極的参加と年間2回以上の創作作品の提出 常にどんなことにも興味を持ち「繋がる」という視点から物事を捉える練習を い。	を求めます。
履修上の留意点	合的に判断して評価します。 毎回の授業における実習活動への積極的参加と年間2回以上の創作作品の提出 常にどんなことにも興味を持ち「繋がる」という視点から物事を捉える練習を	を求めます。

科目名	社会科学概論	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年	
担当教官名	村上初枝	
修得単位数	2 単位	
年間授業時数	3 0 時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	いま世界は、深刻な人類的課題が山積しています。 戦後80年の経済・歴史から現代と未来をみていきましょう。	
到達目標	日本・世界にどのような課題・問題があるのかを、歴史的経過を知り考えてい	きます。
	前期計 (15週)	前期計 15時間
	前期内容	
	①授業内容と自己紹介	1
	②戦後80年の日本史(経済を含む)	9
	③大日本帝国憲法と日本国憲法	3
	④前期まとめ	1
	⑤前期期末試験返却	1
	後期計 (15週)	後期計 15時間
授業計画		区为[日]
	後 期 N 次	
	後期内容	
	後期内容 ⑥法の役割(労働法・選挙制度など)	3
		3 5
	⑥法の役割(労働法・選挙制度など)	
	⑥法の役割(労働法・選挙制度など) ⑦環境問題と自然災害(気候危機・エネルギー・地震・火山) ⑧情報社会と金融	5 3
	⑥法の役割(労働法・選挙制度など) ⑦環境問題と自然災害(気候危機・エネルギー・地震・火山) ⑧情報社会と金融 ⑨社会保障制度の機能と動向	5 3 3
	⑥法の役割(労働法・選挙制度など) ⑦環境問題と自然災害(気候危機・エネルギー・地震・火山) ⑧情報社会と金融	5 3
	⑥法の役割(労働法・選挙制度など) ⑦環境問題と自然災害(気候危機・エネルギー・地震・火山) ⑧情報社会と金融 ⑨社会保障制度の機能と動向	5 3 3
☆※☆※◎	⑥法の役割(労働法・選挙制度など) ⑦環境問題と自然災害(気候危機・エネルギー・地震・火山) ⑧情報社会と金融 ⑨社会保障制度の機能と動向 ⑩後期期末レポート返却	5 3 3
実務経験の有無その活かし方	⑥法の役割(労働法・選挙制度など) ⑦環境問題と自然災害(気候危機・エネルギー・地震・火山) ⑧情報社会と金融 ⑨社会保障制度の機能と動向	5 3 3
実務経験の有無 その活かし方	⑥法の役割(労働法・選挙制度など) ⑦環境問題と自然災害(気候危機・エネルギー・地震・火山) ⑧情報社会と金融 ⑨社会保障制度の機能と動向 ⑩後期期末レポート返却	5 3 3
	⑥法の役割(労働法・選挙制度など) ⑦環境問題と自然災害(気候危機・エネルギー・地震・火山) ⑧情報社会と金融 ⑨社会保障制度の機能と動向 ⑩後期期末レポート返却 無 前期は、期末試験のみで中間試験はありません。	5 3 3
その活かし方 成績評価の方法	⑥法の役割(労働法・選挙制度など) ⑦環境問題と自然災害(気候危機・エネルギー・地震・火山) ⑧情報社会と金融 ⑨社会保障制度の機能と動向 ⑩後期期末レポート返却 無 前期は、期末試験のみで中間試験はありません。 後期は期末レポートのみで評価します。	5 3 3
その活かし方 成績評価の方法 履修上の留意点	⑥法の役割(労働法・選挙制度など) ⑦環境問題と自然災害(気候危機・エネルギー・地震・火山) ⑧情報社会と金融 ⑨社会保障制度の機能と動向 ⑩後期期末レポート返却 無 前期は、期末試験のみで中間試験はありません。 後期は期末レポートのみで評価します。 質問・疑問は解決していきましょう。	5 3 3
その活かし方 成績評価の方法 履修上の留意点 自己学習の進め方	⑥法の役割(労働法・選挙制度など) ⑦環境問題と自然災害(気候危機・エネルギー・地震・火山) ⑧情報社会と金融 ⑨社会保障制度の機能と動向 ⑩後期期末レポート返却	5 3 3
その活かし方 成績評価の方法 履修上の留意点	⑥法の役割(労働法・選挙制度など) ⑦環境問題と自然災害(気候危機・エネルギー・地震・火山) ⑧情報社会と金融 ⑨社会保障制度の機能と動向 ⑩後期期末レポート返却 無 前期は、期末試験のみで中間試験はありません。 後期は期末レポートのみで評価します。 質問・疑問は解決していきましょう。	5 3 3

#程 対象クラス 2年 担当教官名 修得単位数 年間授業時数 30時間 授業の方法 科目の概要 (授業科目の内容) 科達目標 到達目標 あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程 2年 2年 2年 2年 2年 30時間 2単位 30時間 議義 30時間 20年 30時間 30時間 30時間 第2章位 41・自然科学の考え方について考察し、科学的な考え方についての理解を深めます。 21・自然科学の考え方について考察し、科学的な考え方についての理解を深めます。 31・太陽系の天体について理解を深め、現在の宇宙観を考えます。 41・情報機器とデータベースについての理解を深め、「電子カルテ」の操作について習熟をはかります。 20日常的によく使う単位に関して、その意味と役割について理解を深めます。 31・太陽系の天体について理解を深め、現在の宇宙観を考えます。 41・情報機器とデータベースについての理解を深め、「電子カルテ」の操作について習熟をはないります。 31・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・	A) F A	リルイナ及(又未川四首(ノノバハ)	
# 2 年	科目名	自然科学概論	
## 担当教育名			
### 1		,	
年間授業時数			
接案の方法			
# 1 自然科学の考え方について学際し、科学的な考え方についての理解を深めます。 2 日常がによく低う 単位に関して、その意味を得けについて理解を深めます。 3 太陽系の天体について理解を深め、現在の宇宙観を考えます。 4 情報機器とデータベースについての理解を深め、現在アカルテ」の機作について門熟をはかなます。		* * *	
科目の概要 (授業科目の内容)	授業の方法		
対域日標 は正誠の判定ができること。		2. 日常的によく使う単位に関して、その意味と役割について理解を深めます。 3. 太陽系の天体について理解を深め、現在の宇宙観を考えます。 4. 情報機器とデータベースについての理解を深め、「電子カルテ」の操作にかります。	ついて習熟をは
前期内容 1. 授業の概要説明 2. 単位について (1) 様々なものの数え方 (2) 単位の歴史 (3) 基本単位の定義と組み立て 3. 太陽系の天体 (1) 天体とは (2) 太陽系の惑星 (3) 場が光るしくみ 前期のまとめ 前期不試験講評 1 1 2 (期内容 4. 情報機器について 情報機器の歴史と現在 5. 「電子カルテ」の及りと現在 5. 「電子カルテ」の操作 (1) 入力と出力 (2) 操作時のトラブル解消法 後期のまとめ 後期不試験講評 1 1 7. 身近なものに共通する要素 形の例 無 との話かし方 成績評価の方法 検期の 後期の2回の定期試験を実施し、その平均点を年間評価とします。(小数点以下は切り)	到達目標		解して説明また
1. 接業の概要説明		前期計 (15 週)	前期計 15時間
(1) 天体とは (2) 太陽系の惑星 (3) 星が光るしくみ 前期のまとめ 前期未試験講評		 授業の概要説明 単位について (1)様々なものの数え方 (2)単位の歴史 	
後期内容		(1) 天体とは(2) 太陽系の惑星(3) 星が光るしくみ前期のまとめ	
後期内容 2 4. 情報機器について 情報機器の歴史と現在 1 5. 「電子カルテ」ソフトのしくみ データベース構造から見たカルテソフトの見方 9 6. 「電子カルテ」の操作 (1) 入力と出力 (2) 操作時のトラブル解消法 9 後期のまとめ 後期末試験講評 1 7. 身近なものに共通する要素 形の例 1 実務経験の有無 その活かし方 無 1 成績評価の方法 前期、後期の2回の定期試験を実施し、その平均点を年間評価とします。(小数点以下は切り 捨て)			1
後期内容 2 4. 情報機器について 情報機器の歴史と現在 2 5. 「電子カルテ」ソフトのしくみ データベース構造から見たカルテソフトの見方 1 6. 「電子カルテ」の操作 (1) 入力と出力 (2) 操作時のトラブル解消法 9 (2) 操作時のトラブル解消法 1 後期のまとめ 後期未試験講評 7. 身近なものに共通する要素 形の例 1 実務経験の有無 その活かし方 無 成績評価の方法 前期、後期の2回の定期試験を実施し、その平均点を年間評価とします。(小数点以下は切り 捨て)	授業計画	後期計 (15 週)	後期計 15時間
データベース構造から見たカルテソフトの見方 6. 「電子カルテ」の操作 (1) 入力と出力 (2) 操作時のトラブル解消法 後期のまとめ 後期末試験講評 7. 身近なものに共通する要素 形の例 1 実務経験の有無 その活かし方 無 成績評価の方法 前期、後期の2回の定期試験を実施し、その平均点を年間評価とします。(小数点以下は切り 捨て)		4. 情報機器について 情報機器の歴史と現在	2
成績評価の方法 (2) 操作時のトラブル解消法 後期のまとめ 後期末試験講評 7. 身近なものに共通する要素 形の例 1 実務経験の有無 その活かし方 無 無 成績評価の方法 前期、後期の2回の定期試験を実施し、その平均点を年間評価とします。(小数点以下は切り 捨て)		データベース構造から見たカルテソフトの見方 6. 「電子カルテ」の操作	
後期のまとめ 後期末試験講評 1 1 7. 身近なものに共通する要素 形の例 1 1 1 1 1 1 1 1 1			,
成績評価の方法形の例1直接無無無成績評価の方法前期、後期の2回の定期試験を実施し、その平均点を年間評価とします。(小数点以下は切り指す)		247,74	
無			
実務経験の有無 その活かし方 前期、後期の2回の定期試験を実施し、その平均点を年間評価とします。(小数点以下は切り 捨て)			1
成績評価の方法 捨て)			
履修上の留意点 中間期評価は実施しません。		前期、後期の2回の定期試験を実施し、その平均点を年間評価とします。(小	>数点以下は切り
	成績評価の方法	捨て)	

神戸センター

■自己学習の准め方	講義は事前に配布する資料を用いて行います。資料をよく読み、講義内容を把握して講義に望んでください。講義後は復習し、内容の理解に努めてください。また、日常の生活において、関係する科目の内容とのつながりや広がりも考えられるよう心がけてください。
使用教科書	なし。プリントを配布します。
参考書/参考資料	必要に応じて模型などの資料を持ち込みます。

私日夕	保健体育	
科目名 課程	************************************	
<u> </u>	のん摩マッケーシ指圧、はり、さゆり件 専門課程 2年	
担当教官名	カー・	
修得単位数	1単位	
年間授業時数	3 0 時間	
授業の方法	実技	
科目の概要	運動・スポーツにかかわる基本的な知識と技術について学びます。	
(授業科目の内容)	体力測定を通して身体の状況を客観的にとらえることについて学びます。 スポーツ傷害とテーピングの基本的な知識と技術について学びます。	
	1. 運動・スポーツを生涯にわたって継続していく重要性を理解して、実践する。	 トることができ
到達目標 	2. 運動・スポーツ実践の基となる自身の体力の現状を客観的に把握できる。 3. スポーツ傷害とテーピングの基礎を理解する。	
	前期計 (15週)	前期計15時間
	1. オリエンテーション	1
	2. 体づくり運動	2
	3. 陸上競技	3
	4. 球技	2
	5. レクリエーションゲーム	3
	6. 体力測定	2
	7. 体育理論	1
	8. 保健理論	1
	о. _{М.М.} -д. нііі	1
授業計画		
	後期計 (15週)	後期計15時間
	1. 体づくり運動	2
	2. 陸上競技	2
	3. レクリエーションゲーム	5
	4. スポーツ傷害とテーピング	4
	5. 体育理論	1
	6. 保健理論	1
		1
	4117-	I
実務経験の有無	無	
その活かし方		
	理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価の平均点を学年末評価とします。(小数点	
成績評価の方法	第一位は切り捨て)	
履修上の留意点	中間試験は実施しません。天候により使用する体育施設を変更することがあり)ます。
自己学習の進め方	既習の内容は、余暇活動での活用や自己学習を含めて振り返り学習してくだる	Z / ,°
使用教科書	なし	
使用教科書 参考書/参考資料	なし 全国障害者スポーツ大会競技規則集及び解説集	

₩ ₽ ₽	化. 7m 沙. 豆	1
科目名	生理学Ⅱ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科専門課程	
対象クラス	2年	
担当教官名	米田 裕和	
修得単位数	3単位 90時間	
年間授業時数	** *	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	この科目では人体の正常な機能について学びます。内分泌、生殖成長と老化、動、感覚および生体の防御機構の仕組みについて理解することは、医学的な専上での基礎となり、人の健康に携わる施術師にとって非常に重要な科目であり	7門科目を学ぶ
到達目標	学習した内容を施術に応用する能力と態度を養い、科学的根拠のある医療、サ を実現することを目標とします。	トービスの提供
	前期計 (15週)	前期計 45時間
	1. オリエンテーション	1
	2. 内分泌	15
	3. 生殖、成長と老化	5
	4. 神経	20
	5. 国家試験対策(演習問題の実施、模擬試験問題等の解説)	4
	6. 中間試験	
	7. 期末試験	
授業計画	後期計 (15週)	後期計 45時間
授業計画	******	
授業計画	8. 筋	5
授業計画	******	
授業計画	8. 筋	5
授業計画	8. 筋 9. 身体の運動 10. 感覚	5 10 15
授業計画	8. 筋 9. 身体の運動 10. 感覚 11. 生体の防御機構	5 10 15 5
授業計画	8. 筋 9. 身体の運動 10. 感覚	5 10 15
授業計画	8. 筋 9. 身体の運動 10. 感覚 11. 生体の防御機構	5 10 15 5
授業計画	8. 筋 9. 身体の運動 10. 感覚 11. 生体の防御機構 12. 国家試験対策(演習問題の実施、模擬試験問題等の解説) 13. 中間試験	5 10 15 5
授業計画	8. 筋 9. 身体の運動 10. 感覚 11. 生体の防御機構 12. 国家試験対策(演習問題の実施、模擬試験問題等の解説)	5 10 15 5
授業計画	8. 筋 9. 身体の運動 10. 感覚 11. 生体の防御機構 12. 国家試験対策(演習問題の実施、模擬試験問題等の解説) 13. 中間試験	5 10 15 5
授業計画	8. 筋 9. 身体の運動 10. 感覚 11. 生体の防御機構 12. 国家試験対策(演習問題の実施、模擬試験問題等の解説) 13. 中間試験	5 10 15 5
授業計画	8. 筋 9. 身体の運動 10. 感覚 11. 生体の防御機構 12. 国家試験対策(演習問題の実施、模擬試験問題等の解説) 13. 中間試験	5 10 15 5
授業計画	8. 筋 9. 身体の運動 10. 感覚 11. 生体の防御機構 12. 国家試験対策(演習問題の実施、模擬試験問題等の解説) 13. 中間試験	5 10 15 5
授業計画	8. 筋 9. 身体の運動 10. 感覚 11. 生体の防御機構 12. 国家試験対策(演習問題の実施、模擬試験問題等の解説) 13. 中間試験	5 10 15 5
授業計画	8. 筋 9. 身体の運動 10. 感覚 11. 生体の防御機構 12. 国家試験対策(演習問題の実施、模擬試験問題等の解説) 13. 中間試験	5 10 15 5
授業計画	8. 筋 9. 身体の運動 10. 感覚 11. 生体の防御機構 12. 国家試験対策(演習問題の実施、模擬試験問題等の解説) 13. 中間試験 14. 期末試験	5 10 15 5
授業計画	8. 筋 9. 身体の運動 10. 感覚 11. 生体の防御機構 12. 国家試験対策(演習問題の実施、模擬試験問題等の解説) 13. 中間試験	5 10 15 5
	8. 筋 9. 身体の運動 10. 感覚 11. 生体の防御機構 12. 国家試験対策(演習問題の実施、模擬試験問題等の解説) 13. 中間試験 14. 期末試験	5 10 15 5
実務経験の有無	8. 筋 9. 身体の運動 10. 感覚 11. 生体の防御機構 12. 国家試験対策(演習問題の実施、模擬試験問題等の解説) 13. 中間試験 14. 期末試験	5 10 15 5 10
実務経験の有無	8. 筋 9. 身体の運動 10. 感覚 11. 生体の防御機構 12. 国家試験対策 (演習問題の実施、模擬試験問題等の解説) 13. 中間試験 14. 期末試験 理療教育実施細則24、神戸視力障害センター評価及び試験実施規定6に基づき	5 10 15 5 10
実務経験の有無	8. 筋 9. 身体の運動 10. 感覚 11. 生体の防御機構 12. 国家試験対策(演習問題の実施、模擬試験問題等の解説) 13. 中間試験 14. 期末試験 理療教育実施細則24、神戸視力障害センター評価及び試験実施規定6に基づき中間・期末に総括評価(筆記試験)を行い、平均点(小数点以下、切り捨て)	5 10 15 5 10
実務経験の有無その活かし方	8. 筋 9. 身体の運動 10. 感覚 11. 生体の防御機構 12. 国家試験対策 (演習問題の実施、模擬試験問題等の解説) 13. 中間試験 14. 期末試験 理療教育実施細則24、神戸視力障害センター評価及び試験実施規定6に基づき	5 10 15 5 10

神戸センター

履修上の留意点	学年末成績が50点以上(59点未満)の場合のみ、理療教育実施細則の規定により補習を行った上で再評価試験を行います。 やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は理療教育実施細則の規定より欠席 扱いとなりますが、30分未満でも積極的な授業参加を期待します。
自己学習の進め方	1. 復習は、教科書の各単元の学習のためのキーワド、学習のねらい、復習のポイントを必ず確認してください。精読をして内容の理解に努めて下さい。知らない用語や理解できないところがあれば、辞書や教科書を調べ、それでも解決できなければ、次の講義までに担当教官に質問して解決してください。 2. 過去の国家試験問題を各単元が終了した後に必ず解いてください。学習の要点が分かり、講義への理解が深まります。
使用教科書	人体の構造と機能 生理学 第3版、盲学校理療教科用図書編纂委員会編/内田さえ他著、医歯薬出版、2021年
参考書/参考資料	特になし

科目名	病理学	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科専門課程	
対象クラス	2年	
担当教官名	木村 秀伯	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者として必要な疾病の本態や各病変の概要について学びます。	
到達目標	疾病の成り立ち・症状・経過・原因などについて説明ができる。	
	前期計 (15 週)	前期計 30時間
	1. 病理学の基礎	4
	2. 病因	10
	3. 細胞傷害と修復	8
		0
	4. 循環障害	
	(充血、うっ血、虚血、出血)	8
授業計画	後期計 (15 週)	後期計 30時間
	4. 循環障害	
	(血栓症、塞栓症、梗塞、側副循環、浮腫、全身循環障害)	8
	5. 炎症	8
	6. 免疫異常	6
	7. 腫瘍	8
実務経験の有無	無	
その活かし方		
	理療教育実施細則に基づき、各学期の期末に試験(筆記試験)を実施する。当	
成績評価の方法	前期と後期の評価点の平均点(小数点以下は切り捨て)とする。なお、中間其のではなった。	月にはそれぞれ
	の到達度を確認するための形成的評価を実施する。	
- 履修上の留意点	講義は教科書を基に資料を作成し、それを用いて講義を進めます。提示した研究といるようにしておいて下さい、党界の悪ちがいかり、講義。の理解が深まれる	
- スラエ・田心州	解くようにしておいて下さい。学習の要点が分かり、講義への理解が深まりませれる。	
1	教科書や配付資料を熟読し内容の理解に努めてください。また履修済科目の解	
古 コ 学 羽 カ 准 4 十		, F 0 // // THE /P
自己学習の進め方	等の内容についても振り返り知識の整理に努め、まとめのノート等を作成する てください。	よりに心掛け
	てください。)よりに心掛け
自己学習の進め方 使用教科書 参考書/参考資料		うように心掛け

	ヤ州 (年及 授業計画者(ンノハム)	
科目名	臨床医学総論	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科専門課程	
対象クラス	2年	
担当教官名	中西初男	
修得単位数	3単位 90時間	
年間授業時数 授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者として必要な西洋医学における診察法(医療面接や身体診察)、臨床検査法、治療法の概要について学びます。	
到達目標	1.症状の病態生理を理解すると共に、その診察法・検査法について説明ができる。 2.臨床検査法の理論・臨床的意義・適応について説明ができる。 3.治療法について説明ができる。	
	前期計 (15 週)	前期計 45時間
	1. 診察法 (1) 診察の概要 (2) 問診(医療面接) (3) 視診 (4) 打診 (5) 聴診 (6) 触診 (7) 測定法 (8) 生命兆候(バイタルサイン)	2 2 4 10 4 4 9
授業計画	後期計 (15 週) (9)神経系の診察 (10)運動機能検査 2.臨床検査法 (1)一般検査 (2)生化学検査 (3)生理学的検査及び画像診断の概要 3.治療法 (1)治療の意義と分類 (2)薬物療法	後期計 45時間 6 6 10 4 4 2 2
	(3)食事療法(4)理学療法(5)その他の療法	2 2 2
	4. 臨床心理	5
実務経験の有無 その活かし方	有 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師 病院・治療院での施術経験を生かして、リスク管理のもと安全で効果的な、患 せた施術ができるよう指導します。	-
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、各学期の中間期と期末に試験(筆記試験)を実施評価は、前期と後期の評価点の平均点(小数点以下は切り捨て)とする。	可する。学年末
履修上の留意点	講義は改定された新教科書に沿って授業を進めます。また、必要な資料は適宜 す。提示した確認問題は必ず解くようにしておいて下さい。学習の要点が分か 理解が深まります。	
自己学習の進め方	教科書や配付資料を熟読し内容の理解に努めてください。また履修済科目の解剖学や生理学等の内容についても振り返り知識の整理に努め、まとめのノート等を作成するように心掛けてください。メディア等も利用して幅広い医学知識の収集を図りましょう。	
使用教科書	生活と疾病Ⅱ 臨床医学総論 第3版	
参考書/参考資料	必要に応じて配布します。	

むロケ	田庭府中医学久塾	
科目名 課程	理療臨床医学各論 あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
担当教官名	池田正道	
修得单位数	3単位	
年間授業時数	90時間	
型 中間投業時数 型 授業の方法	講義	
	一	
科目の概要 (授業科目の内容)	各疾患の概念、病態生理、原因、症状、検査、治療、予後について学習する。	
到達目標	各疾患の主な特徴を理解し、概念や原因、症状、検査、治療法等について簡素 る。	ないではいます。
	前期計 (15週)	前期計 45時間
	1. オリエンテーション	1
	2. 運動器疾患	44
	2. 连期命次总	44
	(関節疾患、骨代謝性疾患、骨腫瘍、筋・腱疾患、形態異常、脊椎疾患、外傷、スポーツ外傷・障害、その他の整形外科疾患)	
授業計画	後期計 (15週)	後期計 45時間
	3. 神経疾患	28
	(脳血管疾患及び頭部外傷、感染性疾患、脳・脊髄疾患、基底核変性疾患、 その他の変性疾患及び脱髄疾患、認知症、筋疾患、運動ニューロン疾患、末 梢神経疾患、神経痛、機能性疾患)	30
	4. 精神・心身医学的疾患	8
	5. 麻酔科学	4
	6. 救急医学	3
	7. 小児科疾患	2
中级级联系十二	有 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師	
実務経験の有無 その活かし方	病院での実務経験を活かし、特に遭遇することの多い疾患については経験談を 点的に解説します。	交えながら重
成績評価の方法	前期の中間と期末、後期の中間と期末の平均点を前期と後期の評価としますは切り捨て)。さらに、前期と後期の平均点を学期末の評価とします(少数点捨て)。	
履修上の留意点	1. 各疾患の概念、病態生理、原因、症状、検査、治療、予後については、国家試験の疾患や主に理療臨床で遭遇することの多い疾患等に重点を置きながら解説します。 2. 適宜、解剖学や生理学、臨床医学総論等の関連科目に留意しながら指導をおこない 3. 総括的評価として、前期中間・期末、後期中間・期末の計4回試験を実施します。	
自己学習の進め方	解剖学や生理学といった人体の構造と機能に関する知識については、教科書等 復習し、授業で学習した知識のベースアップに努めてください。	Fを用いて逐次
使用教科書	生活と疾病Ⅲ(臨床医学各論)上巻・中巻・下巻	
参考書/参考資料		
•		

科目名	東洋医学概論Ⅱ	
課程 課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科専門課程	
対象クラス	2年	
担当教官名	藤井 徹	
修得単位数	3単位	
年間授業時数	90時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	理療師として必要な東洋医学の基礎、生理観、疾病観、診断法、治療法につい	て学びます。
到達目標	東洋医学の基礎理論、生理観、疾病観、診断法について理解し、東洋医学的治療法について も説明できるようになる。さらに、これらを治療に応用できるようになる。	
	前期計 (15 週)	前期計 45時間
	1. オリエンテーション	1
	2. 東洋医学の基礎理論	10
	(1) 東洋医学の意義と特徴 、(2) 陰陽五行論	
	3. 東洋医学の生理観	10
	(1) 東洋医学における人体の構成 (2) 気・血・津液・精・神の生理	10
	(3) 臓象論 、(4) 経絡と経穴	
	4. 東洋医学の疾病観	24
	(1) 病因論	
	(2) 病理・病証論	
	①八綱病証	
	②気・血・津液・精の病理と病証	
	③臓腑の病理と病証	
授業計画		W #831 458488
	後期計 (15 週)	後期計 45時間
	4. 東洋医学の疾病観	10
	④経絡病証	
	⑤経筋病証	
	⑥六経病証	
	5. 診断論	20
	(1) 四診法 、(2) 証の立て方	20
	6. 治療論	1.5
		15
	(1) はりきゅう両方、(2) 手技療法、(3) その他	
実務経験の有無	無	
その活かし方		
成績評価の方法	総括的評価は前後期の中間・期末に年4回実施し、前後期の評価の平均点をも	って年間評価と
ペペパシペ H I III マンノノ 14ム	します。なお、成績は小数点第1位で切り捨てた整数とします。	
履修上の留意点	はり師・きゅう師国家試験の出題基準を考慮した講義を行います。	
	東洋医学概論の難解な言葉や漢字については、事前に読みを調べることにより	学習がスムー
自己学習の進め方	ズに進みます。 授業が終わったら必ずその内容を復習し、不明な箇所はそのままにせず相談す	マトニアニア
	技業が終わったら必ずでの内容を復省し、不明な固所はそのままにせず相談するださい。	ひょりにして
	基礎理療学 I (東洋医学概論)改訂第7版	
参考書/参考資料	東洋療法学校協会編 新版東洋医学概論	
■ ~ ~ □ / ~ ~ √ 八八 (1)	The second secon	

소 H A	1747 十尺 1久未町四首(イノババ)	
科目名 ####	経絡経穴概論Ⅱ なり藤マッサージ指圧 はり きゅう科 東明神紀	
課程 対象クラス	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程 2年	
担当教官名	佐藤智紀	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	経脈の流注、経穴及び奇穴の部位と取穴方法、要穴、解剖所見、組合せ穴、 現代医学的研究などについて学びます。	経絡及び経穴の
	 1. 同身寸法、骨度法を理解し説明できる。 2. 経脈の走行・流注の概要を理解し、説明できる。 3. 経穴及び奇穴の部位を理解し、取穴できる。 4. 要穴を理解し説明できる。 5. 経穴と解剖所見を結びつけ、施術に応用できる。 6. 組み合わせ穴を用い、施術に応用できる。 7. 経絡・経穴の現代的研究の概要を説明できる。 	
	前期計 (15 週)	前期計 30時間
	 経穴の取り方(骨度法・同身寸法など) 督脈 任脈 肺経 大腸経 胃経 脾経 心経 小腸経 	1 3 3 3 4 5 4 3 4
授業計画	後期計 (15 週)	後期計 30時間
	10. 膀胱経 11. 腎経 12. 心包経 13. 三焦経 14. 胆経 15. 肝経 16. 奇経 17. 奇穴 18. 組み合わせ穴 19. 経絡・経穴の現代的研究	6 3 3 3 5 3 2 3 1 1
実務経験の有無 その活かし方	無	

神戸センター

成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、各学期の期末に試験(筆記試験)を実施します。学年末評価 は、前期と後期の評価点の平均点(小数点以下は切り捨て)とします。なお、中間期にはそ れぞれの到達度を確認するための形成的評価を実施します。
履修上の留意点	定期的な取穴練習を実施します。実技と同様に衛生管理やリスク管理を意識して授業に臨んでください。
自己学習の進め方	試験だけでなく、経穴の暗唱をしてもらいます。ただ覚えるだけでなく解剖学で学ぶ筋肉や神経なども併せて学習してください。経絡の流れ、経穴の場所を覚えるため、または取穴するために必要な知識となりますので、他科目と並行して自己学習してください。
使用教科書	新版経絡経穴概論 日本理療科教員連盟 社団法人東洋療法学校協会編
参考書/参考資料	必要に応じて配布します。

A = 5		
科目名	あマ指応用実習Ⅰ (臨床実習前試験等を含む)	
課程 対象クラス	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程 2年	
担当教官名	藤井 徹、中西 初男	
修得単位数	4単位	
年間授業時数	120時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内 容)	1年次に習得した基礎的技術をさらに習熟させるとともに、疾患別に応じた原療法など、施術者として必要な応用的な施術に関する内容について学びます。 また、臨床実習前評価を行うことにより、臨床で応用できる知識や技術が身に 評価します。	
到達目標	(1)患者を意識した身だしなみ及び接遇に配慮することができる。(2)主要な医療面接及び身体診察ができる。(3)一定の時間内で主訴に応じたあん摩の総合的全身施術ができる。(4)物療機器を安全に取り扱うことができる。(5)あマ指施術に関わる衛生管理及びリスク管理ができる。	
	前期計 (15週)	前期計 60時間
	1.1年次の復習	35
	2. 分野別の治療法	20
	(1) 健康医学分野	
	(2) 産業医学分野	
	(3) スポーツ医学分野	
	(4) 老年医学分野	
	3. 臨床実習前試験等	5
授業計画		
	後期計 (15週)	後期計 60時間
	4. 日常遭遇しやすい主な症候・疾患に対する診察と施術	39
	(1) 運動器系(肩こり、頸肩腕痛、腰下肢痛、肩・膝の関節痛)	
	(2) 呼吸器・循環器系(咳嗽、高血圧症)	
	(3) 消化器系(胃炎、便秘・下痢)	
	(4) 婦人科系(月経異常、更年期障害)、その他	
	(5) 臨床実習前試験等	5
	5. 模擬臨床実習	12
	6. 総まとめ	4
	有 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師	
実務経験の有無 その活かし方	病院・治療院での施術経験を生かして、リスク管理のもと安全で効果的な、見せた施術ができるよう指導します。	患者さんに合わ
成績評価の方法	前期末・後期末評価に加えて、臨床前評価も含めた平均点を学年末評価とし	ます。
履修上の留意点	リスク管理、衛生管理、患者への対応、診察の進め方、適否の判断については全ての授業の中で身に着けて行きましょう。 6月、11月の2回、形成的評価のため中間試験を実施します。	

神戸センター

自己学習の進め方	授業時間内での練習が主となりますが、学習した基本手技については、授業以外の時間帯に も反復継続して訓練して下さい。正確な手技や体位で行うことに注意し、技能の向上を図る ように努めてください また、全身あん摩を所定の時間内でできるよう術式を組み立てられるようにしてください。
使用教科書	なし
参考書/参考資料	

, /i-r in /-i	あマ指圧応用Ⅱ(臨床前評価を含む)	
科目名 課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科・専門課程	
対象クラス	2年	
担当教官名	木村 秀伯	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者として必要な応用的施術に関する知識と技能について学習し、施術を に実践できる能力と態度を養います。また、臨床実習前に臨床前試験等を行い 実習が開始できるようにします。	
到達目標	(1) 患者を意識した身だしなみ及び接遇に配慮することができる。(2) 主要な医療面接及び身体診察ができる。(3) 症状に応じて、あマ指施術の手技を選択し施術ができる。(4) あマ指施術に関わる衛生管理及びリスク管理ができる。	
	前期計 (15 週)	前期計 30時間
	1. あマ指基礎復習	4
	2. 臨床入門	5
	①リスク管理 ②患者への対応	
	③診察の進め方 ④適否の判定□	
	3. 各種体操と運動療法	5
		5
	①肩こり体操 ②五十肩体操	
	③棒体操 ④その他の治療体操 (健康十巧など)	
	4. 各種手技療法	5
	①オイルマッサージ ②その他の手技療法	
	5. 理学的検査法(頸肩腕通・上肢の関節痛)	8
	6. 臨床実習前試験等	3
授業計画	後期計 (15 週)	後期計 30時間
授業計画	後期計 (15 週) 1.各種体操と運動療法	後期計 30時間
授業計画	1. 各種体操と運動療法	
授業計画	1. 各種体操と運動療法 ①腰痛体操 ②大腿四頭筋筋力強化訓練	5
授業計画	 各種体操と運動療法 ①腰痛体操 ②大腿四頭筋筋力強化訓練 各種手技療法 	
授業計画	 各種体操と運動療法 ①腰痛体操 ②大腿四頭筋筋力強化訓練 各種手技療法 ①推拿 ②関節モビリゼーション 	5 5
授業計画	 各種体操と運動療法 ①腰痛体操 ②大腿四頭筋筋力強化訓練 各種手技療法 	5
授業計画	 各種体操と運動療法 ①腰痛体操 ②大腿四頭筋筋力強化訓練 各種手技療法 ①推拿 ②関節モビリゼーション 	5 5
授業計画	 各種体操と運動療法 ①腰痛体操 ②大腿四頭筋筋力強化訓練 各種手技療法 ①推拿 ②関節モビリゼーション 施術に応用する物理療法 	5 5
授業計画	 各種体操と運動療法 ①腰痛体操 ②大腿四頭筋筋力強化訓練 各種手技療法 ①推拿 ②関節モビリゼーション 施術に応用する物理療法 ①温熱療法 ②電気療法 	5 5 2
授業計画	 1.各種体操と運動療法 ①腰痛体操 ②大腿四頭筋筋力強化訓練 2.各種手技療法 ①推拿 ②関節モビリゼーション 3.施術に応用する物理療法 ①温熱療法 ②電気療法 4.介護予防・機能訓練指導に必要な知識と技術 ①運動機能評価□②包括的高齢者運動トレーニング 	5 5 2
授業計画	 1.各種体操と運動療法 ①腰痛体操 ②大腿四頭筋筋力強化訓練 2.各種手技療法 ①推拿 ②関節モビリゼーション 3.施術に応用する物理療法 ①温熱療法 ②電気療法 4.介護予防・機能訓練指導に必要な知識と技術 ①運動機能評価□②包括的高齢者運動トレーニング ③介護に必要な基礎的事項 	5 5 2 3
授業計画	 1.各種体操と運動療法 ①腰痛体操 ②大腿四頭筋筋力強化訓練 2.各種手技療法 ①推拿 ②関節モビリゼーション 3.施術に応用する物理療法 ①温熱療法 ②電気療法 4.介護予防・機能訓練指導に必要な知識と技術 ①運動機能評価□②包括的高齢者運動トレーニング ③介護に必要な基礎的事項 5.理学的検査法(腰下肢痛・下肢の関節痛) 	5 5 2 3
授業計画	 1.各種体操と運動療法 ①腰痛体操 ②大腿四頭筋筋力強化訓練 2.各種手技療法 ①推拿 ②関節モビリゼーション 3.施術に応用する物理療法 ①温熱療法 ②電気療法 4.介護予防・機能訓練指導に必要な知識と技術 ①運動機能評価□②包括的高齢者運動トレーニング ③介護に必要な基礎的事項 5.理学的検査法(腰下肢痛・下肢の関節痛) 6.臨床実習前試験等 	5 5 2 3 8 4
	 1.各種体操と運動療法 ①腰痛体操 ②大腿四頭筋筋力強化訓練 2.各種手技療法 ①推拿 ②関節モビリゼーション 3.施術に応用する物理療法 ①温熱療法 ②電気療法 4.介護予防・機能訓練指導に必要な知識と技術 ①運動機能評価□②包括的高齢者運動トレーニング ③介護に必要な基礎的事項 5.理学的検査法(腰下肢痛・下肢の関節痛) 6.臨床実習前試験等 7.臨床実習入門 	5 5 2 3
実務経験の有無	 1.各種体操と運動療法 ①腰痛体操 ②大腿四頭筋筋力強化訓練 2.各種手技療法 ①推拿 ②関節モビリゼーション 3.施術に応用する物理療法 ①温熱療法 ②電気療法 4.介護予防・機能訓練指導に必要な知識と技術 ①運動機能評価□②包括的高齢者運動トレーニング ③介護に必要な基礎的事項 5.理学的検査法(腰下肢痛・下肢の関節痛) 6.臨床実習前試験等 	5 5 2 3 8 4
	 1.各種体操と運動療法 ①腰痛体操 ②大腿四頭筋筋力強化訓練 2.各種手技療法 ①推拿 ②関節モビリゼーション 3.施術に応用する物理療法 ①温熱療法 ②電気療法 4.介護予防・機能訓練指導に必要な知識と技術 ①運動機能評価□②包括的高齢者運動トレーニング ③介護に必要な基礎的事項 5.理学的検査法(腰下肢痛・下肢の関節痛) 6.臨床実習前試験等 7.臨床実習入門 無 前期末・後期末評価に加えて、臨床前評価も含めた平均点を学年末評価としてに切り捨て)。なお、中間期にはそれぞれの到達度を確認するための形成的 	5 5 2 3 8 4 3 ます (小数点以
実務経験の有無その活かし方	 1.各種体操と運動療法 ①腰痛体操 ②大腿四頭筋筋力強化訓練 2.各種手技療法 ①推拿 ②関節モビリゼーション 3.施術に応用する物理療法 ①温熱療法 ②電気療法 4.介護予防・機能訓練指導に必要な知識と技術 ①運動機能評価□②包括的高齢者運動トレーニング ③介護に必要な基礎的事項 5.理学的検査法(腰下肢痛・下肢の関節痛) 6.臨床実習前試験等 7.臨床実習入門 無 前期末・後期末評価に加えて、臨床前評価も含めた平均点を学年末評価とします。	5 5 2 3 8 4 3 ます (小数施し が評価を実施し
実務経験の有無その活かし方成績評価の方法	 1. 各種体操と運動療法 ①腰痛体操 ②大腿四頭筋筋力強化訓練 2. 各種手技療法 ①推拿 ②関節モビリゼーション 3. 施術に応用する物理療法 ①温熱療法 ②電気療法 4. 介護予防・機能訓練指導に必要な知識と技術 ①運動機能評価□②包括的高齢者運動トレーニング ③介護に必要な基礎的事項 5. 理学的検査法 (腰下肢痛・下肢の関節痛) 6. 臨床実習前試験等 7. 臨床実習入門 無 	5 5 2 3 8 4 3 ず価を実施し きを払う態 でい。払う でい。払う でいるがである。 ながい。 ながい。 ながい。 ながい。 ながい。 ながい。 ながい。 ながい
実務経験の有無 その活かし方 成績評価の方法 履修上の留意点 自己学習の進め方 使用教科書	1. 各種体操と運動療法 ①腰痛体操 ②大腿四頭筋筋力強化訓練 2. 各種手技療法 ①推拿 ②関節モビリゼーション 3. 施術に応用する物理療法 ①温熱療法 ②電気療法 4. 介護予防・機能訓練指導に必要な知識と技術 ①運動機能評価□②包括的高齢者運動トレーニング ③介護に必要な基礎的事項 5. 理学的検査法 (腰下肢痛・下肢の関節痛) 6. 臨床実習前試験等 7. 臨床実習前試験等 7. 臨床実習入門 無 m m m m m m m m m m m m m m m m m m m m m m m m m m m m	5 5 2 3 8 4 3 ず価を実施し きを払う態 でい。払う でい。払う でいるがである。 ながい。 ながい。 ながい。 ながい。 ながい。 ながい。 ながい。 ながい

科目名	はき応用実習 I (臨床実習前施術実技試験等を含む)	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科専門課程	
対象クラス	2年	
担当教官名	佐藤智紀、米田裕和	
修得単位数	4 単位	
年間授業時数	120時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者として必要な応用的施術に関する知識と技能について、施術を適切かつ効果的に行う能力と態度を学習します。	
到達目標	(1) 患者を意識した身だしなみ及び接遇に配慮することができる。 (2) 主要な医療面接及び身体診察(現代医学的診察を中心に)ができる。 (3) 病態に応じた選穴・配穴・取穴ができる。 (4) 一定の時間内に症状に応じた総合的鍼灸施術(鍼施術を中心に)ができる。 (5) 鍼灸施術に関わる衛生管理及びリスク管理ができる。	
	前期計 (15 週)	前期計 60時間
	1. 基礎実技(直刺・斜刺・横刺、現行17手技)	10
	2. 西洋医学的診察法に基づいた鍼灸施術	
	(1)骨盤と腰仙・仙腸関節	8
	(2)背腰部	8
	(3)下腿と足関節	6
	(4) 膝関節	5
	(5) 肩関節	
		4
	(6)前腕と手関節	5
	(7)頭頸部	5
	3. 臨床入門(臨床実習前施術実技試験への対応を含む)	
	(1)衛生リスク管理、患者への対応 、 (2)身体診察(触察、知覚検査等)	5
노작 제상 크 [前期のまとめ	4
授業計画	後期計 (15 週)	後期計 60時間
	4. 分野別の治療法	4
	5. 特殊鍼法(小児鍼法、皮内鍼法、灸頭鍼法)	6
	6. 日常遭遇しやすい主な疾患や症状に対する診察と施術	
	(1)運動器系(肩こり、頸肩腕痛、腰下肢痛、肩・膝の関節痛など)	12
	(2)呼吸器・循環器系(咳嗽、高血圧症など)	6
	(3)消化器系(胃炎、便秘、下痢など)	6
	(4)婦人科系(月経異常、更年期障害など)	7
	7. 低周波鍼通電療法	10
	8. 臨床入門(臨床実習前施術実技試験への対応を含む)	5
		3
	(1)診察の進め方、(2)適応の判定	
	(3)診察から治療の流れ(医療面接、身体診察、治療等)	
	後期のまとめ	4
╆ ᡑᡑᡑᡑᢌᢌ	無	
実務経験の有無 その活かし方		
- 10		

神戸センター

成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、前期、後期期末に実技試験を実施し、その平均点をもって学年末評価とします。期末試験においては、刺鍼・施灸技術、診察・施術の流れ、施術部位の取穴法、衛生リスク管理、患者への対応等について評価します。また、臨床実習前施術実技試験の内容を成績に加味します。
履修上の留意点	実技室以外では鍼や灸は扱わないでください。 臨床実習を想定した実技を行いますので、タオルワークや触れ方にも十分注意を払ってください。
自己学習の進め方	解剖学、経絡経穴概論、東洋医学概論、臨床医学総論、理療臨床医学各論の内容が含まれるため、事前に取穴法や診察に関連する内容の復習をして実習に臨んでください。
使用教科書	鍼灸実技 オリエンス研究会編
参考書/参考資料	新版 経絡経穴概論、人体の構造の機能(解剖学)

かロト	フルイナ及 1又未可四首(マノハハ)	
科目名	はりきゅう応用実習Ⅱ(臨床実習前施術実技試験等を含む)	
 課程 対象クラス	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程 2年	
担当教官名	森定真	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内 容)	臨床実習に向けて、灸のリスク・適応などを学び、実践に近い形で灸の適応と別方法や様々な灸法と選穴などを学び、安全かつ的確な施術が出来る能力を身また患者への接遇やインフォームドコンセントなどやベッドサイドの配慮事項の獲得を目指します。	γに付けます。
到達目標	(1) 患者を意識した身だしなみ及び接遇に配慮することができる。 (2) 主要な医療面接及び身体診察(東洋医学的診察を中心に)ができる。 (3) 病状に応じた選穴・配穴・取穴ができる。 (4) 一定の時間内に症状に応じた総合的鍼灸施術(灸施術を中心に)ができる。 (5) 鍼灸施術に関わる衛生管理及びリスク管理ができる。	
	前期計 (15 週)	前期計 30時間
	1 施術への導入 (オリエンテーションを含む)	4
	施術室の管理・施術用具の知識と取り扱い	
	衛生管理・リスク管理	
	2 施灸の基礎	3
	艾の鑑別、線香の取り扱いと艾炷への点火	J
		1.0
	3 基本的施灸法及び特殊灸法	10
	知熱灸・透熱灸、隔物灸、温灸器具を用いた灸法	
	4 身体各部・主な経穴への施灸	10
	5 臨床実習前施術実技試験	2
	6 評価のフィードバック	1
授業計画	後期計 (15 週)	後期計 30時間
汉朱阳西		
	7 主な症候・疾患に対する診察と施術(施灸による全身調整法を含む)	15
	8 臨床入門	11
	リスク・衛生管理	
	患者への対応、診察の進め方	
	適否の判定	
	9 臨床実習前施術実技試験	3
		3
	10 評価のフィードバック	1
	10 評価のフィードバック 施灸時の接遇	1
		1
	施灸時の接遇	1
	施灸時の接遇 声掛けを含むベッドサイドでの接遇について	1
	施灸時の接遇 声掛けを含むベッドサイドでの接遇について ※視覚障害者の施灸に関してより高い水準で安全性と実効性を念頭におき 創意・工夫し、利用者個々の特性に合った補助具などを使用するなどの配慮 に留意する	1
実務経験の有無	施灸時の接遇 声掛けを含むベッドサイドでの接遇について ※視覚障害者の施灸に関してより高い水準で安全性と実効性を念頭におき 創意・工夫し、利用者個々の特性に合った補助具などを使用するなどの配慮	1
実務経験の有無 その活かし方	施灸時の接遇 声掛けを含むベッドサイドでの接遇について ※視覚障害者の施灸に関してより高い水準で安全性と実効性を念頭におき 創意・工夫し、利用者個々の特性に合った補助具などを使用するなどの配慮 に留意する	1

履修上の留意点	身体や白衣を清潔に保ち衛生管理に留意します。施術に対してお互いに敬意を払う態度で取 り組みます。火傷のリスクが高いので火気の取り扱いには十分に留意します。
自己学習の進め方	この実習で身につける知識・技術には、解剖学や経絡経穴概論で履修する学習内容も含まれており、関連する事項については授業中に解説を行い、次の実習までに復習して下さい。授業時間外において、各自が人体施灸の練習する場合は、教官立ち合いの元で行うようにし、実習中に説明した注意事項を十分に守り、実習で習得した範囲内で練習に励んで下さい。
使用教科書	鍼灸実技 基礎と臨床 オリエンス研究会編
参考書/参考資料	はりきゅう基礎実習I 教官用指導マニュアル

科目名	衛生学・公衆衛生学	
<u> </u>	衛生子・公衆衛生子 あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	米田 裕和	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者として必要な健康の保持、衛生学の基礎について学び、過去からの変遷 などについても考えます。	と、現在の課題
到達目標	1. 現在の生活習慣病の特徴を理解し、その対策法を説明できるようになる。 2. 主な感染症の特徴と対策を理解し、説明できるようになる。 3. 理療における消毒法を理解し、実施できるようになる。 4. その他の現在の我が国の衛生・公衆衛生の現状と問題点を理解し、説明でる。	ぎきるようにな
	前期計 (15週)	前期計 30時間
	オリエンテーション	1
	1. 公衆衛生の意義	1
	2. 健康の保持と増進	6
	3. 生活環境と公害	10
	4. 産業保健	4
	5. 精神保健	4
	6. 母子保健	4
】 授業計画	後期計 (15週)	後期計 30時間
	7. 生活習慣病と老人保健	6
	8. 感染症対策	6
	9. 消毒法	6
	10. 疫学	6
	11. 衛生統計と人口統計	6
宝数奴験の右無	無	
実務経験の有無 その活かし方		

成績評価の方法	理療教育実施細則24に基づき、各学期末に行われる期末試験(筆記試験)の平均点(小数点以下、切り捨て)を学年末評価とします。他に中間試験を各学期内に1回行いますが、これは形成的評価として学年末評価には含めません。 なお、筆記試験の形式は四肢択一式及び記述式とします。
履修上の留意点	学年末成績が50点以上(59点未満)の場合のみ、理療教育実施細則の規定により補習を行った上で再評価試験を行います。 た上で再評価試験を行います。 やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は理療教育実施細則の規定より欠席 扱いとなりますが、30分未満でも積極的な授業参加を期待します。
自己学習の進め方	毎回の授業の復習に重点を置き、受けた授業の内容を振り返るとともに、単元ごとに練習問題を行ってください。 予習は、次回行う範囲の教科書に目をとおしておいてください。
使用教科書	疾病の成り立ちと予防 I 衛生・公衆衛生学(改訂第10版)、高橋昌巳・一幡良利・薩田清明 著/理教練教科書委員会編、桜雲会、2025年
参考書/参考資料	東洋療法学校協会編教科書 衛生学・公衆衛生学 第2版、東洋療法学校協会編/浜崎景・姫野誠一郎・出嶋靖志・笹澤吉明著、2005年

科目名	臨床医学各論	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	米田 裕和	
修得単位数	3 単位	
年間授業時数	90時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	各疾患の概念、病態生理、原因、症状、検査、治療、予後について学習しまっ	† .
到達目標	1. 各疾患の概要や診断および治療に関する基礎的知識が説明できる。 2. 病態から疾患を判断し、実際の臨床に生かすことができる。	
	前期計 (15週)	前期計 45時間
	1. オリエンテーション	1
	2. 循環器疾患	6
	3. 呼吸器疾患	7
	4. 消化器疾患	10
	5. 代謝・栄養疾患	6
	6. 内分泌疾患	6
	7. 腎泌尿器疾患	6
	8. 中間試験	1
	9. 前期のまとめ	2
授業計画	後期計 (15週)	後期計 45時間
	10. 男性生殖器疾患	3
	11. 婦人科疾患	6
	12.血液・造血器疾患	6
	13. アレルギー・免疫異常	6
	14. 耳鼻咽喉科疾患	5
		ו
	15. 眼科疾患	5
	15. 眼科疾患	5
	1 5. 眼科疾患 1 6. 皮膚科疾患	5
	1 5. 眼科疾患 1 6. 皮膚科疾患 1 7. 感染症 1 8. 中間試験	5 5 5
	15. 眼科疾患 16. 皮膚科疾患 17. 感染症	5 5 5
	1 5. 眼科疾患 1 6. 皮膚科疾患 1 7. 感染症 1 8. 中間試験	5 5 5 1
	1 5. 眼科疾患 1 6. 皮膚科疾患 1 7. 感染症 1 8. 中間試験	5 5 5 1
実務経験の右無	1 5. 眼科疾患 1 6. 皮膚科疾患 1 7. 感染症 1 8. 中間試験	5 5 5 1
実務経験の有無 その活かし方	15. 眼科疾患 16. 皮膚科疾患 17. 感染症 18. 中間試験 19. 後期のまとめ	5 5 5 1
	15. 眼科疾患 16. 皮膚科疾患 17. 感染症 18. 中間試験 19. 後期のまとめ	5 5 5 1 3
その活かし方	 15. 眼科疾患 16. 皮膚科疾患 17. 感染症 18. 中間試験 19. 後期のまとめ 無 理療教育実施細則24、神戸視力障害センター評価及び試験実施規定6に基づき 	5 5 5 1 3 3 **、前期・後期の
	15. 眼科疾患 16. 皮膚科疾患 17. 感染症 18. 中間試験 19. 後期のまとめ	5 5 5 1 3 3 **、前期・後期の

履修上の留意点	学年末成績が50点以上(59点未満)の場合のみ、理療教育実施細則の規定により補習を行った上で再評価試験を行います。 やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は理療教育実施細則の規定より欠席 扱いとなりますが、30分未満でも積極的な授業参加を期待します。	
自己学習の進め方	臨床でよく遭遇しやすい疾患を中心に、過去の国家試験の頻出ポイントに重点を置いて授業を進めます。 解剖・生理の知識から病態生理を理解して疾患を捉えてください。 あはき臨床で必要となる知識についても紹介します。 疾患の知識を理解するためには正常な人体の構造と機能を理解する必要があります。そのために解剖学と生理学の内容を教科書で復習してください。 また、検査や治療に関する知識は、臨床医学総論の教科書も参考にして学習してください。	
使用教科書	生活と疾病Ⅲ(臨床医学各論)第5版、河村公志郎他6名/日本理療科教員連盟理療教科用図書編纂委員会、日本ライトハウス、2022年	
参考書/参考資料	人体の構造と機能 解剖学 第2版、盲学校理療教科用図書編纂委員会編/河野邦雄他著、医歯薬出版、2023年 人体の構造と機能 生理学 第3版、盲学校理療教科用図書編纂委員会編/内田さえ他著、医歯薬出版、2021年	

科目名	リハビリテーション医学	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	佐藤 智紀	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	講義・実技	
科目の概要	リハビリテーションの理念と方法、各疾患のリハビリテーション、運動の仕組。	みについて学び
(授業科目の内容)	ます。	
到達目標	リハビリテーションの理念や方法などを理解することで、その考え方や方法をB践することができるようになる。	臨床に応用・実
	前期計 (15 週)	前期計 30時間
	オリエンテーション	1
	1. リハビリテーション総説	8
	(1) リハビリテーションと障害	
	(2) リハビリテーション医学と医療	
	2. 障害の評価と治療	20
	(1) 障害の評価	
	(2) 障害の治療	
	※前期中間評価	1
授業計画		
	後期計 (15 週)	後期計 30時間
	3. 各疾患のリハビリテーション	24
		21
	(1)脳卒中、(2)脊髄損傷、(3)脳性麻痺と小児疾患、(4)切断、 (5)骨関節疾患、(6)末梢神経障害、(7)関節リウマチ、(8)パーキ	
	ンソン病、(9)呼吸器疾患、(10)心疾患	
	4 学科の共和立し 自体の機体	_
I	4. 運動の仕組みと身体の機能	5
	4. 運動の仕組みと身体の機能	5
	4. 運動の仕組みと身体の機能 ※後期中間評価	5 1
	※後期中間評価	
宝務終験の右無		
実務経験 の有無 その活かし方	※後期中間評価	
	※後期中間評価	
	※後期中間評価	1
	※後期中間評価 無 理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価の平均点を学年末評価としまっ 一位は切り捨て)	1
その活かし方	※後期中間評価 無 理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価の平均点を学年末評価としまっ	1
その活かし方 成績評価の方法	無 理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価の平均点を学年末評価としまっ 一位は切り捨て) 前期・後期の中間期に形成的評価として中間試験を実施します。	す、(小数点第
その活かし方	※後期中間評価 無 理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価の平均点を学年末評価としまっ 一位は切り捨て)	す、(小数点第
その活かし方 成績評価の方法	無理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価の平均点を学年末評価としまっ一位は切り捨て)前期・後期の中間期に形成的評価として中間試験を実施します。 解剖学、生理学、臨床医学総論、理療臨床医学各論の知識が必要です。他科目。識してください。	す、(小数点第 との関連性を意
その活かし方 成績評価の方法 履修上の留意点	無理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価の平均点を学年末評価としまっ一位は切り捨て)前期・後期の中間期に形成的評価として中間試験を実施します。 解剖学、生理学、臨床医学総論、理療臨床医学各論の知識が必要です。他科目。識してください。	t、 (小数点第 との関連性を意 してください。
その活かし方 成績評価の方法 履修上の留意点	無理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価の平均点を学年末評価としまっ位は切り捨て)前期・後期の中間期に形成的評価として中間試験を実施します。 解剖学、生理学、臨床医学総論、理療臨床医学各論の知識が必要です。他科目、識してください。 授業の進行に合わせて1・2年で学習した内容(解剖学や生理学など)を復習他科目と関連する部分がとても多いため、自学自習でわからない点が出たときに	t、(小数点第 との関連性を意 してください。
その活かし方 成績評価の方法 履修上の留意点 自己学習の進め方	無理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価の平均点を学年末評価としまっ一位は切り捨て)前期・後期の中間期に形成的評価として中間試験を実施します。解剖学、生理学、臨床医学総論、理療臨床医学各論の知識が必要です。他科目。識してください。 授業の進行に合わせて1・2年で学習した内容(解剖学や生理学など)を復習他科目と関連する部分がとても多いため、自学自習でわからない点が出たときにず、すぐに解決するようにしてください。	t、 (小数点第 との関連性を意 してください。
その活かし方 成績評価の方法 履修上の留意点	無理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価の平均点を学年末評価としまっ位は切り捨て)前期・後期の中間期に形成的評価として中間試験を実施します。 解剖学、生理学、臨床医学総論、理療臨床医学各論の知識が必要です。他科目、識してください。 授業の進行に合わせて1・2年で学習した内容(解剖学や生理学など)を復習他科目と関連する部分がとても多いため、自学自習でわからない点が出たときに	t、 (小数点第 との関連性を意 してください。

科目名	医療概論(社会保障制度および職業倫理を含む)	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	橋本拓也	
修得単位数	2 単位	
年間授業時数	3 0 時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	土会保障制度ならびに医療制度および職業倫理ついての基礎的知識を学びまっ	•
到達目標 2	 社会保障制度について説明できる。 医療制度について説明できる。 生命倫理および職業倫理について説明できる。 	
	前期計 (15 週)	前期計 15時間
	1. オリエンテーション 2. 医学と医療 (1) 現代の医学と医療 (2) 社会保障制度 (3) 現代の医学と医療の課題	1 2 8 4
3	後期計 (15 週) 3. 生命倫理 (1) 医の倫理(職業倫理) (2) ターミナルケア (3) 自然死、尊厳死、安楽死 (4) 臓器移植と脳死 (5) 体外受精・人工妊娠中絶・胎児診断	後期計 15時間 7 2 2 2 2 2
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	里療教育実施細則に基づき、各学期末に行われる期末試験(筆記試験)の平♯は切り捨て)を学年末評価とします。他に中間試験を各学期内に1回行います 平価として学年末評価には含めません。	
履修上の留意点	土会保障制度および職業倫理に関する指導は1単位相当とします。	
自己学習の進め方常	常日頃社会保障制度や医療制度に関心をもち関連する情報に触れるよう心がに	けましょう。
使用教科書	医療と社会 改訂8版 岡山ライトハウス	
参考書/参考資料 な	3 L	

むロケ	〒和(午及 授耒計画者(ンノハイ) ■	
科目名	東洋医学臨床論	
課程 対象クラス	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程 3年	
担当教官名	森定真	
修得単位数		
上 修符单位数 上 年間授業時数	150時間	
授業の方法	講義	
<u> </u>	■	1の継引し効果
(授業科目の内容)	的な治療方法について理解を深めます。	
到達目標	学習した内容を施術に応用する能力と態度を養い、科学的根拠のある医療、サービス を実現することを目標とします。	
	前期計 (15週)	前期計75時間
	1. オリエンテーション	1
	2. 治療論(総論、治療原則)	10
	3. 症候別治療(肩こり、頸肩腕痛、肩関節痛、上肢痛、腰下肢痛、膝痛、 運動麻痺、頭痛、顔面痛)	20
	4. 症候別治療(顔面麻痺、歯痛、眼精疲労、鼻閉、脱毛症、めまい、耳鳴り、咳嗽、喘息、胸痛、腹痛)	20
1	5. スポーツ医学と理療施術	12
	6. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む)	12
	7. 中間試験	
	8. 期末試験	
極紫計画	// think / = NII)	70 Had I 1 He
授業計画	後期計 (15週)	後期計75時間
授業計画	9. 症候別治療(悪心、便通異常、月経異常、排尿障害、インポテンツ、高	後期計75時間
授業計画	9. 症候別治療(悪心、便通異常、月経異常、排尿障害、インポテンツ、高血圧症) 10. 疾患別治療(低血圧症、食欲不振、肥満、発熱、のぼせと冷え、不	
授業計画	9. 症候別治療(悪心、便通異常、月経異常、排尿障害、インポテンツ、高血圧症) 10. 疾患別治療(低血圧症、食欲不振、肥満、発熱、のぼせと冷え、不眠、疲労と倦怠、発疹)	25 20
授業計画	9. 症候別治療(悪心、便通異常、月経異常、排尿障害、インポテンツ、高血圧症) 10. 疾患別治療(低血圧症、食欲不振、肥満、発熱、のぼせと冷え、不眠、疲労と倦怠、発疹) 11. 高齢者に対する理療施術	25
授業計画	9. 症候別治療(悪心、便通異常、月経異常、排尿障害、インポテンツ、高血圧症) 10. 疾患別治療(低血圧症、食欲不振、肥満、発熱、のぼせと冷え、不眠、疲労と倦怠、発疹)	25 20
授業計画	9. 症候別治療(悪心、便通異常、月経異常、排尿障害、インポテンツ、高血圧症) 10. 疾患別治療(低血圧症、食欲不振、肥満、発熱、のぼせと冷え、不眠、疲労と倦怠、発疹) 11. 高齢者に対する理療施術	25 20 5
授業計画	9. 症候別治療(悪心、便通異常、月経異常、排尿障害、インポテンツ、高血圧症) 10. 疾患別治療(低血圧症、食欲不振、肥満、発熱、のぼせと冷え、不眠、疲労と倦怠、発疹) 11. 高齢者に対する理療施術 12. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む) 13. 中間試験	25 20 5
授業計画	9. 症候別治療(悪心、便通異常、月経異常、排尿障害、インポテンツ、高血圧症) 10. 疾患別治療(低血圧症、食欲不振、肥満、発熱、のぼせと冷え、不眠、疲労と倦怠、発疹) 11. 高齢者に対する理療施術 12. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む)	25 20 5
授業計画	9. 症候別治療(悪心、便通異常、月経異常、排尿障害、インポテンツ、高血圧症) 10. 疾患別治療(低血圧症、食欲不振、肥満、発熱、のぼせと冷え、不眠、疲労と倦怠、発疹) 11. 高齢者に対する理療施術 12. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む) 13. 中間試験	25 20 5
授業計画	9. 症候別治療(悪心、便通異常、月経異常、排尿障害、インポテンツ、高血圧症) 10. 疾患別治療(低血圧症、食欲不振、肥満、発熱、のぼせと冷え、不眠、疲労と倦怠、発疹) 11. 高齢者に対する理療施術 12. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む) 13. 中間試験	25 20 5
授業計画	9. 症候別治療(悪心、便通異常、月経異常、排尿障害、インポテンツ、高血圧症) 10. 疾患別治療(低血圧症、食欲不振、肥満、発熱、のぼせと冷え、不眠、疲労と倦怠、発疹) 11. 高齢者に対する理療施術 12. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む) 13. 中間試験	25 20 5
授業計画	9. 症候別治療(悪心、便通異常、月経異常、排尿障害、インポテンツ、高血圧症) 10. 疾患別治療(低血圧症、食欲不振、肥満、発熱、のぼせと冷え、不眠、疲労と倦怠、発疹) 11. 高齢者に対する理療施術 12. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む) 13. 中間試験	25 20 5
授業計画	9. 症候別治療(悪心、便通異常、月経異常、排尿障害、インポテンツ、高血圧症) 10. 疾患別治療(低血圧症、食欲不振、肥満、発熱、のぼせと冷え、不眠、疲労と倦怠、発疹) 11. 高齢者に対する理療施術 12. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む) 13. 中間試験	25 20 5
授業計画	9. 症候別治療(悪心、便通異常、月経異常、排尿障害、インポテンツ、高血圧症) 10. 疾患別治療(低血圧症、食欲不振、肥満、発熱、のぼせと冷え、不眠、疲労と倦怠、発疹) 11. 高齢者に対する理療施術 12. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む) 13. 中間試験	25 20 5
授業計画	9. 症候別治療(悪心、便通異常、月経異常、排尿障害、インポテンツ、高血圧症) 10. 疾患別治療(低血圧症、食欲不振、肥満、発熱、のぼせと冷え、不眠、疲労と倦怠、発疹) 11. 高齢者に対する理療施術 12. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む) 13. 中間試験	25 20 5
授業計画	9. 症候別治療(悪心、便通異常、月経異常、排尿障害、インポテンツ、高血圧症) 10. 疾患別治療(低血圧症、食欲不振、肥満、発熱、のぼせと冷え、不眠、疲労と倦怠、発疹) 11. 高齢者に対する理療施術 12. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む) 13. 中間試験	25 20 5
	9. 症候別治療(悪心、便通異常、月経異常、排尿障害、インポテンツ、高血圧症) 10. 疾患別治療(低血圧症、食欲不振、肥満、発熱、のぼせと冷え、不眠、疲労と倦怠、発疹) 11. 高齢者に対する理療施術 12. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む) 13. 中間試験	25 20 5
接業計画 実務経験の有無 その活かし方	9. 症候別治療(悪心、便通異常、月経異常、排尿障害、インポテンツ、高血圧症) 10. 疾患別治療(低血圧症、食欲不振、肥満、発熱、のぼせと冷え、不眠、疲労と倦怠、発疹) 11. 高齢者に対する理療施術 12. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む) 13. 中間試験 14. 期末試験	25 20 5
実務経験の有無	9. 症候別治療(悪心、便通異常、月経異常、排尿障害、インポテンツ、高血圧症) 10. 疾患別治療(低血圧症、食欲不振、肥満、発熱、のぼせと冷え、不眠、疲労と倦怠、発疹) 11. 高齢者に対する理療施術 12. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む) 13. 中間試験 14. 期末試験	25 20 5 25
実務経験の有無	9. 症候別治療(悪心、便通異常、月経異常、排尿障害、インポテンツ、高血圧症) 10. 疾患別治療(低血圧症、食欲不振、肥満、発熱、のぼせと冷え、不眠、疲労と倦怠、発疹) 11. 高齢者に対する理療施術 12. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む) 13. 中間試験 14. 期末試験	25 20 5 25 25
実務経験の有無その活かし方	9. 症候別治療(悪心、便通異常、月経異常、排尿障害、インポテンツ、高血圧症) 10. 疾患別治療(低血圧症、食欲不振、肥満、発熱、のぼせと冷え、不眠、疲労と倦怠、発疹) 11. 高齢者に対する理療施術 12. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む) 13. 中間試験 14. 期末試験	25 20 5 25 25

┃ ┃ 自己学習の進め方	1. 復習は配布資料を精読して、内容の理解に努めて下さい。理解できないところがあれば、 教科書を調べ、それでも解決できなければ、次の講義までに担当教官に質問し確認して下さい。 2. 受験対策として講義の最後に提示した確認問題は必ず解くようにしておいて下さい。学習 の要点が分かり、講義への理解が深まります。
使用教科書	臨床理療学(理療臨床論)
参考書/参考資料	東洋医学臨床論(はりきゅう編及びあマ指編)

市和7年及 授業計画者(ンプハス)			
科目名			
課程 あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課	程		
対象クラス 3年			
7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	木村 秀伯		
修得単位数 1 単位			
年間授業時数 30時間			
授業の方法 講義と実技の併用			
科目の概要 (授業科目の内容) 身体診察の目的と手順を理解し、各種検査法のスキルを習得すること や障害の程度を的確に把握できるようになることを目的とする授業で			
1. 身体診察の概要が理解できる。 到達目標 2. 主要な理学的検査法を手順どおり行うことができるようになる。 3. 各検査法の意義が理解できる。	2. 主要な理学的検査法を手順どおり行うことができるようになる。		
前期計 (15 週)	前期計 15時間		
1. オリエンテーション	1		
2. 頚部の診察	3		
3. 肩関節の診察	3		
4. 肘の診察	2		
5. 手関節・手指の診察	2		
6. 反復練習・復習	4		
授業計画 後期計 (15 週)	後期計 15時間		
1. 腰殿部の診察	3		
2. 股関節の診察			
2. 放	3		
3. 膝関節の診察	3		
4. 足関節の診察	2		
5. 反復練習・復習	4		
5. <u>火</u> 後 府			
	4		
	4		
	4		
	4		
	4		
	4		
	4		
宇教奴験の右無	4		
実務経験の有無 無 一	4		
その活かし方			
その活かし方 前期期末、後期期末の年2回の総括的評価の平均点もって年間評価と	します(小数点以下は		
その活かし方	します(小数点以下は		
その活かし方 前期期末、後期期末の年2回の総括的評価の平均点もって年間評価と 成績評価の方法 切り捨て)。なお、中間期にはそれぞれの到達度を確認するための形	します(小数点以下は 成的評価を実施しま		
その活かし方 成績評価の方法 前期期末、後期期末の年2回の総括的評価の平均点もって年間評価と 切り捨て)。なお、中間期にはそれぞれの到達度を確認するための形 す。 講義は教科書を基に資料を作成し、それを用いて講義を進めます。そ 配布資料を精読して復習し、内容の理解に努めて下さい。理解できな	します(小数点以下は 成的評価を実施しま のため、講義後は必ず いところがあれば、教		
その活かし方	します(小数点以下は 成的評価を実施しま のため、講義後は必ず いところがあれば、教		
その活かし方 成績評価の方法 前期期末、後期期末の年2回の総括的評価の平均点もって年間評価と切り捨て)。なお、中間期にはそれぞれの到達度を確認するための形す。 講義は教科書を基に資料を作成し、それを用いて講義を進めます。そ配布資料を精読して復習し、内容の理解に努めて下さい。理解できな科書を調べ、それでも解決できなければ、次の講義までに担当教官にい。	します(小数点以下は 成的評価を実施しま のため、講義後は必ず いところがあれば、教 質問し確認して下さ		
その活かし方 成績評価の方法 前期期末、後期期末の年2回の総括的評価の平均点もって年間評価と切り捨て)。なお、中間期にはそれぞれの到達度を確認するための形す。 講義は教科書を基に資料を作成し、それを用いて講義を進めます。そ配布資料を精読して復習し、内容の理解に努めて下さい。理解できな科書を調べ、それでも解決できなければ、次の講義までに担当教官にい。 この科目は、徒手検査のスキルの習得に重点を置いています。そのた返し学習することが必要となります。普段から復習を兼わてトレーニ	します(小数点以下は 成的評価を実施しま のため、講義後は必ず いところがあれば、教 質問し確認して下さ め授業時間外にも繰り		
その活かし方 成績評価の方法 前期期末、後期期末の年2回の総括的評価の平均点もって年間評価と切り捨て)。なお、中間期にはそれぞれの到達度を確認するための形す。 講義は教科書を基に資料を作成し、それを用いて講義を進めます。そ配布資料を精読して復習し、内容の理解に努めて下さい。理解できな科書を調べ、それでも解決できなければ、次の講義までに担当教官にい。 この科目は、徒手検査のスキルの習得に重点を置いています。そのた返し学習することが必要となります。普段から復習を兼ねてトレーニください。また、理療臨床医学各論、解剖学等の内容も含まれるため	します(小数点以下は 成的評価を実施しま のため、講義後は必ず のたとこながあれば、さ 質問し確認して下さ め授業時間外にも繰り ングを行うようにして		
をの活かし方 成績評価の方法 前期期末、後期期末の年2回の総括的評価の平均点もって年間評価と切り捨て)。なお、中間期にはそれぞれの到達度を確認するための形す。 講義は教科書を基に資料を作成し、それを用いて講義を進めます。そ配布資料を精読して復習し、内容の理解に努めて下さい。理解できな科書を調べ、それでも解決できなければ、次の講義までに担当教官にい。 この科目は、徒手検査のスキルの習得に重点を置いています。そのた返し学習することが必要となります。普段から復習を兼ねてトレーニください。また、理療臨床医学各論、解剖学等の内容も含まれるためする事項について確認しておいて下さい。	します(小数点以下は 成的評価を実施しま のため、講義後は必ず のたとこながあれば、さ 質問し確認して下さ め授業時間外にも繰り ングを行うようにして		
その活かし方 成績評価の方法 前期期末、後期期末の年2回の総括的評価の平均点もって年間評価と切り捨て)。なお、中間期にはそれぞれの到達度を確認するための形す。 講義は教科書を基に資料を作成し、それを用いて講義を進めます。そ配布資料を精読して復習し、内容の理解に努めて下さい。理解できな科書を調べ、それでも解決できなければ、次の講義までに担当教官にい。 この科目は、徒手検査のスキルの習得に重点を置いています。そのた返し学習することが必要となります。普段から復習を兼ねてトレーニください。また、理療臨床医学各論、解剖学等の内容も含まれるため	します(小数点以下は 成的評価を実施しま のため、講義後は必ず のたとこながあれば、さ 質問し確認して下さ め授業時間外にも繰り ングを行うようにして		

科目名	na 由中台 (中日知 南土 入土、)	
細如	臨床取穴学(生体観察を含む)	
課程 対象クラス	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程 3年	
<u> </u>	森定真	
上 担当教旨名 — 修得単位数		
年間授業時数	30時間	
授業の方法	講義(演習を含む)	
科目の概要	施術を適切かつ効果的におこなうための取穴法、治療に必要な選穴法及び配穴法について学	
(授業科目の内容)	習します。	
到達目標	学習した内容を施術に応用する能力と態度を養い、科学的根拠のある医療、 を実現することを目標とします。	サービスの提供 <u>.</u>
	前期計 (15週)	前期計15時間
	1. オリエンテーション	1
	2. 触診総論(体表反応の変化を含む)	3
	3. 筋骨の触診	3
	4. 切診(背候診、腹診)	3
	5. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む)	5
	6. 中間試験	
	7. 期末試験	
	// Hn 21 / 4 = Nm \	
授業計画	後期計 (15週)	後期計15時間
授業計画 	*******	
授美計画 	8. 切診(切経、原穴診、脈診、その他の要穴)	7
授兼計画	*******	
授兼計画	8. 切診(切経、原穴診、脈診、その他の要穴)	7
授兼計画	8. 切診(切経、原穴診、脈診、その他の要穴) 9. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む) 10. 中間試験	7
授兼計画	8. 切診(切経、原穴診、脈診、その他の要穴) 9. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む)	7
授兼計画	8. 切診(切経、原穴診、脈診、その他の要穴) 9. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む) 10. 中間試験	7
授兼計画	8. 切診(切経、原穴診、脈診、その他の要穴) 9. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む) 10. 中間試験	7
授兼計画	8. 切診(切経、原穴診、脈診、その他の要穴) 9. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む) 10. 中間試験	7
授兼計画	8. 切診(切経、原穴診、脈診、その他の要穴) 9. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む) 10. 中間試験	7
授兼計画	8. 切診(切経、原穴診、脈診、その他の要穴) 9. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む) 10. 中間試験	7
授兼計画	8. 切診(切経、原穴診、脈診、その他の要穴) 9. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む) 10. 中間試験	7
授兼計画	8. 切診(切経、原穴診、脈診、その他の要穴) 9. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む) 10. 中間試験	7
授兼計画	8. 切診(切経、原穴診、脈診、その他の要穴) 9. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む) 10. 中間試験	7
授兼計画	8. 切診(切経、原穴診、脈診、その他の要穴) 9. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む) 10. 中間試験	7
授兼計画	8. 切診(切経、原穴診、脈診、その他の要穴) 9. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む) 10. 中間試験	7
	8. 切診(切経、原穴診、脈診、その他の要穴) 9. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む) 10. 中間試験 11. 期末試験	7
実務経験の有無	8. 切診(切経、原穴診、脈診、その他の要穴) 9. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む) 10. 中間試験	7
	8. 切診(切経、原穴診、脈診、その他の要穴) 9. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む) 10. 中間試験 11. 期末試験	7
実務経験の有無	8. 切診(切経、原穴診、脈診、その他の要穴) 9. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む) 1 0. 中間試験 1 1. 期末試験	7
実務経験の有無	8. 切診(切経、原穴診、脈診、その他の要穴) 9. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む) 1 0. 中間試験 1 1. 期末試験 無 前期末、後期末に筆記試験と実技試験を行います。	7 8
実務経験の有無	8. 切診(切経、原穴診、脈診、その他の要穴) 9. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む) 1 0. 中間試験 1 1. 期末試験 無 前期末、後期末に筆記試験と実技試験を行います。 各学期ごとの評価は筆記試験と実技試験を総合して算出します(評価割合:会技試験70%)。	第記試験30%、実
実務経験の有無その活かし方	8. 切診(切経、原穴診、脈診、その他の要穴) 9. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む) 1 0. 中間試験 1 1. 期末試験 無 前期末、後期末に筆記試験と実技試験を行います。 各学期ごとの評価は筆記試験と実技試験を総合して算出します(評価割合:変対験70%)。 学年末評価は、前期と後期の評価の平均とします。なお、中間期にはそれぞ	第記試験30%、実
実務経験の有無その活かし方	8. 切診(切経、原穴診、脈診、その他の要穴) 9. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む) 1 0. 中間試験 1 1. 期末試験 無 前期末、後期末に筆記試験と実技試験を行います。 各学期ごとの評価は筆記試験と実技試験を総合して算出します(評価割合:会技試験70%)。	第記試験30%、実

	この科目は、取穴スキルの習得に重点を置いています。そのため授業時間外に繰り返し学習することが必要となります。少なくとも週2回、1時間程度のトレーニングを行うようにしてください。また、解剖学、経絡経穴概論の内容も含まれるため、次の講義までに関連する事項について確認しておいて下さい。
使用教科書	経絡経穴概論 東洋療法学校協会編
参考書/参考資料	ボディ・ナビゲーション〜触ってわかる身体解剖〜 医道の日本社

科目名	地域理療と理療経営	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	橋本拓也	
修得单位数	2 単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	講義	
投業の万伝		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
科目の概要 (授業科目の内容)	この科目は、理療と関わる地域社会や法制度の動向に触れるとともに、理療経知識について理解を深めます。また学習した内容で卒業後の就職先や開業に応力と教養が養われ、就労・社会復帰の実現の基礎となります。	
到達目標	施術者として必要な地域社会における理療の役割、医療・福祉のあり方、及び要な知識について教授し、施術者並びに経営者としての能力と態度を修得するます。	
	前期計 (15 週)	前期計 30時間
	 地域社会と理療 少子高齢社会の現状と課題 社会保障制度の体系 理療業務と社会保険制度 	5 5 10 10
授業計画	後期計 (15 週) 5. 理療経営の基礎 6. 理療経営の展開 7. 理療と就労	後期計 30時間 10 10 10
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	前期期末、後期期末の年2回の総括的評価の平均点もって年間評価とします (り捨て)。なお、中間期にはそれぞれの到達度を確認するための形成的評価を	(小数点以下は切 ・実施します。
履修上の留意点	地域に求められる理療師像を明確にするとともに、施術所経営に関しても必要 つけてください。	なスキルを身に
自己学習の進め方	講義は教科書を基にまた必要ならば資料を作成しそれを用いて進めます。そのため講義後は必ず教科書等を精読して復習し、内容の理解につとめてください。理解できないところがあれば、教科書を調べ、それでも解決できなければ、次の講義までに担当教官に質問し確認してください。	
使用教科書	地域理療と理療経営(社会鍼灸あん摩学序説)第5版	
	必要に応じて配布します	
▍参考書/参考資料		

科目名	あん摩マッサージ指圧の歴史と理論	
課程		
<u> </u>	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程 3年	
担当教官名	木村 秀伯	
修得単位数	7个的 第10 2	
年間授業時数	60	
授業の方法	講義	
科目の概要		
(授業科目の内容)	手技療法を行うにあたり必要な技術や理論、あマ指の歴史等について学習しま	す。
到達目標	手技に関する理論を説明できるようにします。また、主義に関する理論を治療 ようにします。	に応用できる
	前期計 (15週)	前期計 30時間
	1. あん摩の意義と歴史	2
	2. あん摩の基本手技	8
	3. 古法あん摩	
		3
	4. マッサージの意義と歴史	2
	5. マッサージの基本手技	7
	6. 指圧の意義と歴史	2
	7. 指圧の基本手技	4
	8. その他の関連する治療法	2
	8. での他の角座する石原伝	2
授業計画	後期計 (15週)	後期計 30時間
	9. あん摩マッサージ指圧の臨床応用	5
	10. リスク管理	4
	11. 治療的作用と生体反応	4
	12. あん摩マッサージ指圧の基礎理論	10
	1 3. 関連学説	7
		•
実務経験の有無	無	•
その活かし方		
	理療教育実施細則に基づき、各学期の期末に試験(筆記試験)を実施する。学	
成績評価の方法	前期と後期の評価点の平均点(小数点以下は切り捨て)とする。なお、中間期のではなった。]にはそれぞれ
	の到達度を確認するための形成的評価を実施する。	, ,
屋板しの郊舎上	あん摩マッサージ指圧理論の項目の中には日々進歩していく内容のものもあり ど説明しますが、疑問に思うことは、インターネットなどで調べてみてくださ	
履修上の留意点	と説明しますが、疑問に思りことは、インダーネットなどで調べてみてくたさ くい時には担当教官に質問してください。	V'。
	復習しながら知識の整理を行いますが、配布した資料を基に知識を整理してお	3くトうにして
自己学習の進め方	復音しながら知識の登壁を打いますが、配布した賃料を基に知識を登壁してお ください。わからないことがあればインターネットなどで調べたり、それでも	
ロロナロの煙の刀	には担当教官に質問するようにして理解するようにしましょう。	
使用教科書	基礎保健理療 2 (保健理療理論) 日本ライトハウス	
参考書/参考資料	東洋療法学校協会 あん摩マッサージ指圧理論第3版	

ı dı □ Þ	1741 十尺 1久未町四百(マノハハ)	
科目名	はりきゅうの歴史と理論	
課程 対象クラス	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程 3年	
担当教官名	森定真	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	鍼灸医学の最新の基礎・臨床研究の成果について触れ、鍼灸の作用機序について理解を深めます。また学習した内容を施術に応用する能力と態度を養い、科学的根拠のある医療、サービスの提供を実現することを目標とします。	
到達目標	学習した内容を施術に応用する能力と態度を養い、科学的根拠のある医療、党を実現することを目標とします。	ナービスの提供
	前期計 (15週)	前期計30時間
	1. オリエンテーション	1
	2. 鍼の基礎知識	3
	3. 刺鍼の方式と術式	
		3
	4. 特殊鍼法	2
	5. 灸の基礎知識	2
	6. 灸法の種類	3
	7. 鍼灸の臨床応用	3
	8. リスク管理	4
	9. 鍼灸治効の基礎	
		4
	10. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む)	5
	11. 中間試験	
	12. 期末試験	
授業計画	後期計 (15週)	後期計30時間
	13. 鍼灸治効の基礎	6
	14. 鍼灸施術の一般治効理論	8
	15. 関連学説	6
	16. 国試対策(演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む)	10
	17. 中間試験	
	18. 期末試験	
	無	L
実務経験の有無		
その活かし方		
	各学期末に行われる期末試験(筆記試験)の平均点(小数点以下は切り捨て)	を学年末証価
成績評価の方法	とします。他に中間試験を各学期内に1回行いますが、これは形成的評価とし	
	は含めません。	
履修上の留意点	講義は教科書を基に資料を作成し、それを用いて講義を進めます。	
	-	

自己学習の進め方	1. 復習は配布資料を精読して、内容の理解に努めて下さい。理解できないところがあれば、 教科書を調べ、それでも解決できなければ、次の講義までに担当教官に質問し確認して下さい。 2. 受験対策として講義の最後に提示した確認問題は必ず解くようにしておいて下さい。学習 の要点が分かり、講義への理解が深まります。
使用教科書	基礎理療学Ⅲ(オリエンス研究会編)
参考書/参考資料	はりきゅう理論 東洋療法学校協会編

₩	17年1千度 1文末川四百(マノバハ)	
科目名	あマ指臨床実習Ⅰ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科・専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	木村一秀伯	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	90時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内 容)	外部からの実習協力者への施術を通して、施術者として必要なあん摩マッサージ指圧施術の 知識、技術を高めるとともに、適切なコミュニケーション能力を養い、安全で効果的な施術 法を学びます。	
到達目標	1. 設備・備品の管理、清潔の保持ができる。 2. 他の科目で学習した知識、技術を活用し効果的な施術ができる。 3. リスク管理が適切に行える。 4. カルテ作成により実習のまとめができる。	
	前期計 (15 週)	前期計 45時間
	(前期内容)	
	臨床実習	45
	1. 利用者の習熟に合わせて、教官指導の下、再診の施術協力者の医療面接を実施することにより、病態の把握方法、治療計画について習得する。	
	2. 施術内容を適切にカルテに記録する。	
授業計画	/公 廿□ ⇒ l.	公 ₩□⇒[4 □ □ ± □ □
授業計画	後期計 (15 週)	後期計 45時間
授業計画	後期計 (15 週) (後期内容)	後期計 45時間
授業計画	(後期内容)	
授業計画		後期計 45時間
授業計画	(後期内容)	
授業計画	(後期内容) 臨床実習 1. 利用者の習熟に合わせて、教官指導の下、再診の施術協力者の医療面接	
授業計画	(後期内容) 臨床実習 1. 利用者の習熟に合わせて、教官指導の下、再診の施術協力者の医療面接 を実施することにより、病態の把握方法、治療計画について習得する。	
	(後期内容) 臨床実習 1.利用者の習熟に合わせて、教官指導の下、再診の施術協力者の医療面接 を実施することにより、病態の把握方法、治療計画について習得する。 2.施術内容を適切にカルテに記録する。	
実務経験の有無	(後期内容) 臨床実習 1. 利用者の習熟に合わせて、教官指導の下、再診の施術協力者の医療面接 を実施することにより、病態の把握方法、治療計画について習得する。	
	(後期内容) 臨床実習 1.利用者の習熟に合わせて、教官指導の下、再診の施術協力者の医療面接を実施することにより、病態の把握方法、治療計画について習得する。 2.施術内容を適切にカルテに記録する。	45
実務経験の有無 その活かし方	(後期内容) 臨床実習 1.利用者の習熟に合わせて、教官指導の下、再診の施術協力者の医療面接を実施することにより、病態の把握方法、治療計画について習得する。 2.施術内容を適切にカルテに記録する。 無 観察記録を基に各学期の中間期、期末期に評価を行います。理療教育実施細則	45
実務経験の有無	(後期内容) 臨床実習 1. 利用者の習熟に合わせて、教官指導の下、再診の施術協力者の医療面接 を実施することにより、病態の把握方法、治療計画について習得する。 2. 施術内容を適切にカルテに記録する。 無 観察記録を基に各学期の中間期、期末期に評価を行います。理療教育実施細則 期・後期末評価の平均点を本科目の学年末評価とします。	45
実務経験の有無その活かし方成績評価の方法	(後期内容) 臨床実習 1. 利用者の習熟に合わせて、教官指導の下、再診の施術協力者の医療面接を実施することにより、病態の把握方法、治療計画について習得する。 2. 施術内容を適切にカルテに記録する。 無 觀察記録を基に各学期の中間期、期末期に評価を行います。理療教育実施細則期・後期末評価の平均点を本科目の学年末評価とします。 自身の健康管理に留意するとともに、身体や白衣を清潔に保ちましょう。	45
実務経験の有無 その活かし方	(後期内容) 臨床実習 1. 利用者の習熟に合わせて、教官指導の下、再診の施術協力者の医療面接を実施することにより、病態の把握方法、治療計画について習得する。 2. 施術内容を適切にカルテに記録する。 無 観察記録を基に各学期の中間期、期末期に評価を行います。理療教育実施細則期・後期末評価の平均点を本科目の学年末評価とします。 自身の健康管理に留意するとともに、身体や白衣を清潔に保ちましょう。リスク管理のためささいなことでも困りごとが発生したら担当教官に協力を申	45
実務経験の有無その活かし方成績評価の方法	(後期内容) 臨床実習 1. 利用者の習熟に合わせて、教官指導の下、再診の施術協力者の医療面接を実施することにより、病態の把握方法、治療計画について習得する。 2. 施術内容を適切にカルテに記録する。 無 観察記録を基に各学期の中間期、期末期に評価を行います。理療教育実施細則期・後期末評価の平均点を本科目の学年末評価とします。 自身の健康管理に留意するとともに、身体や白衣を清潔に保ちましょう。リスク管理のためささいなことでも困りごとが発生したら担当教官に協力を申い。	45
実務経験の有無その活かし方成績評価の方法	(後期内容) 臨床実習 1. 利用者の習熟に合わせて、教官指導の下、再診の施術協力者の医療面接を実施することにより、病態の把握方法、治療計画について習得する。 2. 施術内容を適切にカルテに記録する。 無 観察記録を基に各学期の中間期、期末期に評価を行います。理療教育実施細則期・後期末評価の平均点を本科目の学年末評価とします。 自身の健康管理に留意するとともに、身体や白衣を清潔に保ちましょう。リスク管理のためささいなことでも困りごとが発生したら担当教官に協力を申い。 事前にカルテを読み、患者の病態について把握しておいて下さい。	45
実務経験の有無 その活かし方 成績評価の方法 履修上の留意点 自己学習の進め方	(後期内容) 臨床実習 1. 利用者の習熟に合わせて、教官指導の下、再診の施術協力者の医療面接を実施することにより、病態の把握方法、治療計画について習得する。 2. 施術内容を適切にカルテに記録する。 無 観察記録を基に各学期の中間期、期末期に評価を行います。理療教育実施細則期・後期末評価の平均点を本科目の学年末評価とします。 自身の健康管理に留意するとともに、身体や白衣を清潔に保ちましょう。リスク管理のためささいなことでも困りごとが発生したら担当教官に協力を申い。 事前にカルテを読み、患者の病態について把握しておいて下さい。 施術後の経過を確認し、施術効果について考察して下さい。	45 川に基づき、前
実務経験の有無 その活かし方 成績評価の方法 履修上の留意点	(後期内容) 臨床実習 1. 利用者の習熟に合わせて、教官指導の下、再診の施術協力者の医療面接を実施することにより、病態の把握方法、治療計画について習得する。 2. 施術内容を適切にカルテに記録する。 無 観察記録を基に各学期の中間期、期末期に評価を行います。理療教育実施細則期・後期末評価の平均点を本科目の学年末評価とします。 自身の健康管理に留意するとともに、身体や白衣を清潔に保ちましょう。リスク管理のためささいなことでも困りごとが発生したら担当教官に協力を申い。 事前にカルテを読み、患者の病態について把握しておいて下さい。	45 川に基づき、前

A 1 5		
科目名	あマ指臨床実習Ⅱ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科・専門課程	
対象クラス	3年 	
担当教官名	藤井 徹	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	外部からの実習協力者への施術を通して、施術者として必要なあん摩マッサー知識、技術を高めるとともに、適切なコミュニケーション能力を養い、安全で法を学びます。	
到達目標	1. 設備・備品の管理、清潔の保持ができる。 2. 他の科目で学習した知識、技術を活用し効果的な施術ができる。 3. リスク管理が適切に行える。 4. カルテ作成により実習のまとめができる。	
	前期計 (15 週)	前期計 30時間
	(前期内容)	
	臨床実習	30
	1. 利用者の習熟に合わせて、教官指導の下、再診の施術協力者の医療面接を実施することにより、病態の把握方法、治療計画について習得する。	
	2. 施術内容を適切にカルテに記録する。	
授業計画	※ ##₹	W HIEL COUNTY
	後期計 (15 週)	後期計 30時間
	(後期内容)	
	臨床実習	30
	1. 利用者の習熟に合わせて、教官指導の下、再診の施術協力者の医療面接を実施することにより、病態の把握方法、治療計画について習得する。	
	2. 施術内容を適切にカルテに記録する。	
	Arr	1
実務経験の有無	無	
その活かし方		
成績評価の方法	観察記録を基に各学期の中間期、期末期に評価を行います。理療教育実施細 期・後期末評価の平均点を本科目の学年末評価とします。	川に基づき、前
履修上の留意点	自身の健康管理に留意するとともに、身体や白衣を清潔に保ちましょう。 リスク管理のためささいなことでも困りごとが発生したら担当教官に協力を申し出て下さ い。	
自己学習の進め方	・。 事前にカルテを読み、患者の病態について把握しておいて下さい。 施術後の経過を確認し、施術効果について考察して下さい。	
使用教科書	なし	
参考書/参考資料	必要に応じて配布します。	
	-	

利日友	はき臨床実習Ⅰ	
科目名 課程	はさ臨床美音 I あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
<u> </u>	の心体マグリーン相広、はり、さゆり村 専門味性 3年	
担当教官名	佐藤智紀	
修得単位数	2 単位	
年間授業時数	90時間	
授業の方法	実習 904年間	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者として必要なはりきゅう臨床に関する知識と技能について学習し、施行 果的に行う能力と態度を修得します。	析を適切かつ効
到達目標	1. 施術者として必要な心構えと態度を実践できる。 2. 医療面接や身体診察から病態把握や施術の適否鑑別ができる。 3. 施術における適切なリスク管理ができる。 4. 施術録を明瞭かつ客観的に記載できる。	
	前期計 (15 週)	前期計 45時間
	1. 臨床ガイダンス (1) 施術者としての基本(施術者としての心得、患者への対応) (2) 設備や備品の管理と清潔の保持 (3) 消毒(施術器具の消毒、手指及び施術部位の消毒) 2. 施術の実践 (1) 教官とともに診察・評価し、教官の指導の下で施術する 主訴、症状を明らかにする。疾病の理解、施術の適否の判断 施術の説明と同意、症状に基づいた評価、治療目標、治療計画 (2) 教官とともに施術後の評価を検討する 施術後の評価と検討 (3) 施術後、施術録を作成し、指導と助言を受ける。 適切な施術録の作成	6
授業計画	後期計 (15 週)	後期計 45時間
	 3. 施術の実践 (1)教官とともに診察・評価し、教官の指導の下で施術する 主訴、症状を明らかにする。疾病の理解、施術の適否の判断 施術の説明と同意、症状に基づいた評価、治療目標、治療計画 (2)教官とともに施術後の評価を検討する 施術後の評価と検討 (3)施術後、施術録を作成し、指導と助言を受ける。 適切な施術録の作成 	45
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき前期、後期の各学期末に総括的評価を実施します。 平均点をもって学年末の評価とします。	各期末成績の

	施術者としての基本的態度や守秘義務等を遵守してください。臨床実習協力者の方へ実際に 施術を行うため、衛生管理・リスク管理は常に心がけてください。
自己学習の進め方	解剖学、経絡経穴概論、東洋医学概論、臨床医学総論、理療臨床医学各論の内容が含まれる ため、事前に取穴法や診察に関連する内容の復習をして実習に臨んでください。
使用教科書	なし
参考書/参考資料	新版 経絡経穴概論、人体の構造の機能(解剖学)

₩		
科目名	はき臨床実習Ⅱ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	森定真	
修得単位数	2単位 90時間	
年間授業時数	実習	
授業の方法		油の吹広っと
科目の概要 (授業科目の内容)	教官指導のもとで、臨床実習協力者の症状・疾患の鑑別診断から治療までの一ルを身につけます。	
到達目標	チーム医療を実践できる医療関係者として必要な基本的心構えと態度(責任感、守秘義務、知識・技術の鍛練、礼儀作法(言葉づかい、身だしなみ、接遇態度など))を理解し、行動できる。教員の直接指導のもと、治療計画に応じた施術及び評価が適切に実施できる。鍼灸臨床の現場における衛生管理や、施術上の過誤・有害事象の防止及び生じた際の適切な対処について理解・実践ができる。総合的に治療院等の運営ができるようになることを目標とします。	
	前期計 (15 週)	前期計 45時間
	臨床実習	45
	1. はり師きゅう師の実技指導の一環として、教官の指導の下、臨床	
	実習協力者に対して診察手順、施術方法、待遇の仕方等を臨床経験に合	
	わせて実施します。そのことで技術の習得と施術者としての心構えを養	
	います。	
	2. 実習の記録を適切にカルテに記録します。	
授業計画	後期計 (15 週)	後期計 45時間
授業計画	後期計 (15 週) 臨床実習	後期計 45時間 45
授業計画	臨床実習	
授業計画	臨床実習 1. はり師きゅう師の実技指導の一環として、教官の指導の下、臨床	
授業計画	臨床実習 1. はり師きゅう師の実技指導の一環として、教官の指導の下、臨床 実習協力者に対して診察手順、施術方法、待遇の仕方等を臨床経験に合	
授業計画	臨床実習 1. はり師きゅう師の実技指導の一環として、教官の指導の下、臨床	
授業計画	臨床実習 1. はり師きゅう師の実技指導の一環として、教官の指導の下、臨床 実習協力者に対して診察手順、施術方法、待遇の仕方等を臨床経験に合	
授業計画	臨床実習 1. はり師きゅう師の実技指導の一環として、教官の指導の下、臨床 実習協力者に対して診察手順、施術方法、待遇の仕方等を臨床経験に合 わせて実施します。そのことで技術の習得と施術者としての心構えを養 います。	
授業計画	臨床実習 1. はり師きゅう師の実技指導の一環として、教官の指導の下、臨床 実習協力者に対して診察手順、施術方法、待遇の仕方等を臨床経験に合 わせて実施します。そのことで技術の習得と施術者としての心構えを養 います。 2. 実習の記録を適切にカルテに記録します。	
授業計画	臨床実習 1. はり師きゅう師の実技指導の一環として、教官の指導の下、臨床 実習協力者に対して診察手順、施術方法、待遇の仕方等を臨床経験に合 わせて実施します。そのことで技術の習得と施術者としての心構えを養 います。 2. 実習の記録を適切にカルテに記録します。 3. 利用者からの希望と施術協力者の同意により継続治療を実施しま	
授業計画	臨床実習 1. はり師きゅう師の実技指導の一環として、教官の指導の下、臨床 実習協力者に対して診察手順、施術方法、待遇の仕方等を臨床経験に合 わせて実施します。そのことで技術の習得と施術者としての心構えを養 います。 2. 実習の記録を適切にカルテに記録します。	
授業計画	臨床実習 1. はり師きゅう師の実技指導の一環として、教官の指導の下、臨床 実習協力者に対して診察手順、施術方法、待遇の仕方等を臨床経験に合 わせて実施します。そのことで技術の習得と施術者としての心構えを養 います。 2. 実習の記録を適切にカルテに記録します。 3. 利用者からの希望と施術協力者の同意により継続治療を実施しま	
授業計画	臨床実習 1. はり師きゅう師の実技指導の一環として、教官の指導の下、臨床 実習協力者に対して診察手順、施術方法、待遇の仕方等を臨床経験に合 わせて実施します。そのことで技術の習得と施術者としての心構えを養 います。 2. 実習の記録を適切にカルテに記録します。 3. 利用者からの希望と施術協力者の同意により継続治療を実施しま	
授業計画	臨床実習 1. はり師きゅう師の実技指導の一環として、教官の指導の下、臨床 実習協力者に対して診察手順、施術方法、待遇の仕方等を臨床経験に合 わせて実施します。そのことで技術の習得と施術者としての心構えを養 います。 2. 実習の記録を適切にカルテに記録します。 3. 利用者からの希望と施術協力者の同意により継続治療を実施しま	
授業計画	臨床実習 1. はり師きゅう師の実技指導の一環として、教官の指導の下、臨床 実習協力者に対して診察手順、施術方法、待遇の仕方等を臨床経験に合 わせて実施します。そのことで技術の習得と施術者としての心構えを養 います。 2. 実習の記録を適切にカルテに記録します。 3. 利用者からの希望と施術協力者の同意により継続治療を実施しま	
授業計画	臨床実習 1. はり師きゅう師の実技指導の一環として、教官の指導の下、臨床 実習協力者に対して診察手順、施術方法、待遇の仕方等を臨床経験に合 わせて実施します。そのことで技術の習得と施術者としての心構えを養 います。 2. 実習の記録を適切にカルテに記録します。 3. 利用者からの希望と施術協力者の同意により継続治療を実施しま	
	臨床実習 1. はり師きゅう師の実技指導の一環として、教官の指導の下、臨床 実習協力者に対して診察手順、施術方法、待遇の仕方等を臨床経験に合 わせて実施します。そのことで技術の習得と施術者としての心構えを養 います。 2. 実習の記録を適切にカルテに記録します。 3. 利用者からの希望と施術協力者の同意により継続治療を実施します。	
実務経験の有無	臨床実習 1. はり師きゅう師の実技指導の一環として、教官の指導の下、臨床 実習協力者に対して診察手順、施術方法、待遇の仕方等を臨床経験に合 わせて実施します。そのことで技術の習得と施術者としての心構えを養 います。 2. 実習の記録を適切にカルテに記録します。 3. 利用者からの希望と施術協力者の同意により継続治療を実施しま	
	臨床実習 1. はり師きゅう師の実技指導の一環として、教官の指導の下、臨床 実習協力者に対して診察手順、施術方法、待遇の仕方等を臨床経験に合 わせて実施します。そのことで技術の習得と施術者としての心構えを養 います。 2. 実習の記録を適切にカルテに記録します。 3. 利用者からの希望と施術協力者の同意により継続治療を実施します。	
実務経験の有無その活かし方	臨床実習 1. はり師きゅう師の実技指導の一環として、教官の指導の下、臨床 実習協力者に対して診察手順、施術方法、待遇の仕方等を臨床経験に合 わせて実施します。そのことで技術の習得と施術者としての心構えを養 います。 2. 実習の記録を適切にカルテに記録します。 3. 利用者からの希望と施術協力者の同意により継続治療を実施しま す。 無 別途配布する『評価基準』に基づき、担当教官が学期末に評価を行い、その当	P均点(小数点
実務経験の有無	臨床実習 1. はり師きゅう師の実技指導の一環として、教官の指導の下、臨床実習協力者に対して診察手順、施術方法、待遇の仕方等を臨床経験に合わせて実施します。そのことで技術の習得と施術者としての心構えを養います。 2. 実習の記録を適切にカルテに記録します。 3. 利用者からの希望と施術協力者の同意により継続治療を実施します。 無 別途配布する『評価基準』に基づき、担当教官が学期末に評価を行い、その可以下切捨て)をもって期末評価とします。また前期・後期の中頃に各1度ずる	P均点(小数点
実務経験の有無その活かし方	臨床実習 1. はり師きゅう師の実技指導の一環として、教官の指導の下、臨床 実習協力者に対して診察手順、施術方法、待遇の仕方等を臨床経験に合 わせて実施します。そのことで技術の習得と施術者としての心構えを養 います。 2. 実習の記録を適切にカルテに記録します。 3. 利用者からの希望と施術協力者の同意により継続治療を実施しま す。 無 別途配布する『評価基準』に基づき、担当教官が学期末に評価を行い、その当	45 平均点(小数点 ○形成的評価も

自己学習の進め方	実習者は実習の当日までに担当する患者様のカルテを確認し、担当教官と相談しながら治療
使用教科書	-
参考書/参考資料	「臨床実習マニュアル」「実習生心得」を配布します。